山林課長會議

の調本部関や井太良、中島豊秀 | (最高にないて低速を観行する密で重か外巻調せ以下各価概多額せ、 省、七、八日は陸平名脈に関於趣観が外巻額せい。 近衛期 日も同様資理が行はれた日は陸軍を調せ、 闘東単級部大佐、正衛期 日も同様資理が行はれた日は陸軍

先の開院を解稿長宮殿下か

| 「東京電話」 跳桁は三日今後の歌 の確容を整備し機能整節を目露に | 外交致策略立 (一) 東編の表質と傾信 | 大東京電話 | 駅がは三日今後の歌 の確容を整備した | 一) 東海の参属と傾足出

一方の三相は出來る丈け速かに解充

ととなったが去る七十部館の質鑑 等所謂八大威策の具體化に努める に匿み目下鉄道中の文部、鉄道、拓

ては組閣宮時中島知久平、永井朝はあるが政党側からの補元に對し 太郎南氏に對し蘇邦離脱を要求し

色するものと見られるが政府の塞 新三相とも政策以外の方面からで 一般に対策を表なく文、総、

語り

閣僚補充困難

戦をかけてあるが、器質財ではさ(業の違行方法に對するဆ騰の外に等々の重要なる新規事業を起し版)の監歴のもとに開意、前記重要事

林 英國を第二番網金中より支藤子 ・ 登をそのまゝ元宮し不足分二十一 ・ 登をそのまゝ元宮し不足分二十一 ・ 登をそのまゝ元宮し不足分二十一 ・ で表別が登上でする評贅がと

右敗正を加へる誤配園の上奏をな 能來の例である一旦愈回して再び ついては亜合質師を受する関係上 同官都第一條第二項の一部削除に ると共に直接囲船制事項に置する よつて四日この岩橋府断に回答す として製の通過を騒るに決定した

御路嗣奏語の方法を執らず官邸中

決することとなるわけである

を果せないので一應この案を放棄して選擧區制度並に定員の關係につき根本的改革をない。 (一) 選舉告別義は創定後に十年を無過しな近の必要に迫られてゐること(一)さきの選舉制度副金質において研究された別妻也 正業は現行のうち、選擧區制を基礎として定員四百六十六名はそのまゝとして選擧區の人口 正大は現行のうち、選擧區別を建立の必要に迫られてゐること(一)さきの選舉制度調金質において研究された別妻也 正大明して定員の増減を行ふさい本極めて事務的案であるが之では議會制度刷新の目的 に比例して定員の増減を行ふさい本極めて事務的案であるが之では議會制度刷新の目的 に比例して定員の増減を行ふさい本極のでは自然出されてゐる、且下内密省で研究中の態表数正数の緊ukはとの頭り 窓面の人口

るが認識型後後を避られてした理論との脳線が本間壁を中心に深刻化することは認定で果して政府が疑論との正面はおばなられとしてゐる、而して目下内部省で観覚されてゐる敗正義はこの方針に基ま態表既正義も包含されてゐ にはどうしても選挙法別表の根本的版正を断行して現行選撃原制度派に議員定武敦につき相當思い切った歌章を行

大選集に制度とする可否(こ)定員四百六十六名が多きに失するとせば設何減少すべきやその可否

(一)現行のうち選擧區制度を改正して大體府縣を單位とする

は機能院において修正を加へて歌 すことに決定した、從つて右修正 貨館の經過能に修正保項を設用し り首相官成に蹴り林首相に掴肘委 局長官は午後五時福門院事務所よ **薬配館に就て寄掘を求められたの** う企機盟官員一部修正施に要開

理人留好体炎問題曾赴の新設を開始する、銀廊に大野政府遺録が利用品分額金見有水田の数。各直山林郷兵職には新手任医館職が防事家の全面的資施人民有水田の教

朝鮮の治山事業は昨秋本府で開催。| 行の英全を期する主旨から矢島本

あすから本府に開く

これた産業経済副作館及び治水湖 | 府農林局長が銃旋官となつて五月

分なる極討、協議を行ひ、事業金「梁方面において施設すべき事業を

陸軍參謀長會議

けふ参謀本部に開く

『横府姫の要望を容れて解除「府は所謂『外國人の手先」一勝の歴を受け云々』の宮嗣王の規』 【モスコー三日同盟】 モスコー映

追放つづく 蘇の外國人 らにこれ等の重要事業に関し、十

農用林地の協充、壁山村振興上林

開館中の各道警察部長問題におい

これた全部各道知事館職館に且下一つて其間間に指示する頭であるが

南韓僧の新施政方地はさきに開館| 的為見を置め嵌めて總督の名によ | 始め遺林事業の全面的収益量化等 | 館職日程は左の如し

概し、限機能を加へることになった

・ のの形式が変に必要なる事項に

・ のの形式が変に必要なる事項に

・ のの形式が変に必要なる事項に

・ ののの形式が変に必要なる事項に

・ のののでは、

・ のののでは、

・ のののでは、

・ ののでは、

・ ののでは、
・ ののでは、

・ ののでは、

・ ののでは、

・ ののでは、
・ ののでは、

・ ののでは、
・ ののでは、

・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、

・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、
・ ののでは、

政務總監訓示、

更に具體的に指示

への施政方針示理が完了すること

月までには決定するものと見られ 限談大、事務職権等が意見の中心 就中部管轄は政務網監と各道知事

企畫廳官制案

來

改正通過を圖る

政府は三日間沿院前 すること

樞府の意向を酌んで

なつた、本府文書課では絕質の

歴政方針に基き各局、各道の具題

治山に關する

の三酸酸によって半島の概要機関となすものと見られ難くもと、 簡優が関節されることとなり、こ一見影だ・作が覚をいる対力の名とで徹底を認されたが本月末中棋院 との観覚、各道における知事の個別

術家を網羅

作秋全国的智麗を集めて開催した朝鮮産業程の領語音申楽に基いて本府は適 第一回會議の指導原理を具體化 本府準備を進む

> 始め鮮國國境地俗の開發に直接国 加へられ、これが動向は各方面や 原形的鍵は東湊道維性線道建設を一地源祭によっていよく一重要性からに登三十五百典國の多類島西震。大鵬線かあり、松陽波線器波の映

日支促携を策し

今秋第二回經濟會議

本秋までに開會される度をである、かくて職事部の重響課は後ま各部門別に具體案を定めんとするもので、遅くも満における技術家を網羅し、第一回の指導原理に基準回の企業に関係する。 るをに決定、目下右についての準備を進めてゐる。

論を具體化せしむるため第二回の大會議を開催すよつて一應定められた半島の産業經濟界の指導理能せんとする認識もある感、本府は更に朝鮮産業經濟會議に能せんとする認識もある感、本府は更に朝鮮産業經濟會議に助 あが馬戦の到く中央総府は右壁線の好果に極み内難測固産業程院大野議を開時週標主義を以つてその具態に覧め、その結果は各方面から期待せられてみ

中樞院會議終了を待つて

選舉法改正

は支属交の局面打開については 原足政府の基礎菌くその気割も あみであり且つ変力をもつて共 あるであり且つ変力をもつて共

従つて今直ちに日支提携を策し 善に影響されるところが多い、 支外交は對英、米、酥の厨交破 支外交は對英、米、酥の厨交破 、

問題の急速なる解決を質現する

方針により手を題へ品を塑へて國一午後一時中外務省に佐藤外相を訪 め一日夜館京した川越大使は三日 【東京電話】重要事務打合せのた一の情勢經過を報告し 懸案解決は困難

他つて異相把握に困難だがエービ 出で既は派跡など手を蓋して製飯に逐近、以上の事態に對し熊領申 依然何等説明も加への方針らしい に盆つてゐるがソヴェート政府は **大野政務總監**

料監は天谷の沙官を帝同、 日夜京城縣部、多野島館に翻除了

注目されてある折柄、大野政務

五闘長岛巻賢上校、奥安西等偏成第十一庶長忠霸廷少將、騎兵地見學中であつた兩洲國武官蓋

見解を披掘し同二時四十分群去し 相と簡見しぶ見を開陳する意識で めるが、同大使は帝國政府の對支 い製造の妖勢を悪魔とする自己の 川越大使は奥に南三日中に外

答は極めて注目されてある 外交再検討に張い決心を有してゐ るといはれてゐるからその聲音内



郎花、たかくの元気で 既の補充をす るつてや今に 政府の聲明を 「種か、着は小倉屋の名匹医存を一 こそれでは、紫藤酒と、お茶は、」 所木の旦那は、紫峰、酒がお好き 瀬太郎は変 書の後を吹ん でる

政民所がで代表者をたて群殿和 そのか、それより問題やめる 持つて来い、長次郎が自座をなら べたところだこ で名題の簡節つてい

and comments of the second of 言もいく加級にするがよい」と 古蹟名勝等新 (宮眞は山本僧二郎老)

声に行かなさやならんよ、迷ひ のが高り町だ、やめなきや一

川越大使 外相に進言

回認作所古遗名勝天然記念師 たに四十五件 來る廿八日 委員會開催

保存委員會に大野政府語監が委員 る本府第一郎語話で開催、四十

後一時三十五分客編任の像定の社會施設を視察、來る十三日午の社會施設を視察、來る十三日午の社會施設を視察、來る十三日午 就曾职投15四日午後二時十五分柳 生 社 會課 長柳生總督

人間

政黨との關係深刻化

出張中三日嘉城 今河野金組聯合會事業部長 内地 ため代つて四日入城朝鮮ホテル ため代ので四日入城朝鮮ホテル ◆加賡錦平大住(登謀本部第八混 >治韓聯班局營業縣長 四日輩山

『冗談だよ、赤貝の酢がいいだら 『赤貝はいけねえ、長次郎が長蟲

原河

ものと見て駅内閣はこれが取扱ひに

の天鉄龍で、慰殺を飲めと削割か

進めてゐるが今回の總經費の結果よ

心を明瞭に紫藤院に反映させるため 見て國民の時局に對する正しき給

(43)

イチ クの大ヒツト壁/

中貢太

「それでは、これで町配ひかい」 『主管、紫雕酒でも持つて来い、長天郎は幸三郎を見た。 爾太郎は豪湯を一口飲んで遺飲 家は小庫で名並の秋季で、僧には、「へ、へ、氏夢、能方の家が何か、人かかいつて球響だららご 何もやつてをりませ 河野涌 勢作

長次郎に見せた。

『せらせら 機が無 「理論と数彦道を と笑った。 やつ てる だら んが、 いので、衰彦

「師だ缺でせる、日 道はわい 「風町から、ち上の

厓後 出血後 一二指腸虫

郎は膳を確太郎の前へおいた。 ち、小倉街の肚い浪人を伴れて來 き三郎が 終子の戴つた 鰆 を持 よった。幸三 海太郎の家に

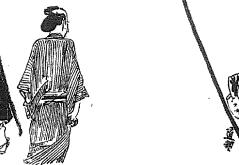
しめるために肝臓嬰剤(バトー肌色素含剤の恢復を速やかなら失はれた肌液 の赤血球血びに

・・マンを納給し、造血機能を

が質用されます。



長次郎は苦笑した。





レクショ

込みがつかなくなつて戦なこと ならのやう、遺跡観看は関重自 みな遥信の監明、どちらも引つ しい女で、戀かない女はいけな 政党の进るところ人大器が七 政所も、民政策も、政が語も「びらでござりますご 遊館建筑の疾神者約三倍、も 天地玄黄 一山何盛といふやうな結果に 羅を持つて來い。」 に動態を吹ぶのだ、撃力と懸律をい云つてるのだ、まづ長論の天素 何か契約でもあるか、何故こんな 一す、そんな事を他のお客さんにで 「おかしな奴だない そうとしてるちゃないかい ったくさんとは、何た、居骸を装] 來るのを辞つてゐた。 た。層太郎は長次郎の眼が此方へ についこ 『主宮、蛇崎ふと聞けば恐ろし無 「いや、もうたくさんでございま 『胎散でも、その脂散なら、まつ 幸三郎は笑ひくと起って往つ 長次郎は幸三郎を促した。 「さた、砂糖の煮つころがしのや鍋太郎は腰を見た。 この四つ時に戦めて来る、諸様が経れるから登録目の朝 の今治量へ往つた。それは朝の四部数を伴れて、日本様大僚馬蘭町 党委目になって個太郎は主視と ごつちやにするない つ時であった。類太郎は彼の晩こ れから大傳馬へ往くぞこ よし、それぢや何か酷めこめ、 「おい、古田、來たのか、とし、太郎は主税に窺が注いた。 主税はにやにや笑つてゐた。 于解釈が一 やっ 中はあるだら 主人は留守 東|中 相 公 場 日本勧業銀行構内 三三二三三三三四三六六六八 88公益養品名全國三三三二三三三

ボロタクを盛べ、明台は増や が來なくなつて、小意識は板の味 「小館殿は腰帯上りも、彼の方の 励つてゐつた。聲 らず執り揃へておけと云つてから みして入らなか 太郎が入ららと

店支城京紅魯式株券證業勸本日 支城京社會式株券證業勧本日 坂登京城二大七、電話城局四0五四 促興債等も有利格的引動業債等も良い 債 落つ ▲ ◇○大岩実宝書書を立ちるたべ名英 高 價 丁目三十八番 きー 安設はか 買 **建华党兴福望**建立

治核 腺病性 政男作曲の クチィティドーコレ を即爆発避ばされ

ばされた、原设に対すに加発を

監」秩父卿名代宮

監】族父命名代名 を御船税避ばされ ピリアル・エアー(ロッドン三日同 佐の脚案内で場内 させられ特にイン

を関係機能はされ

ザー公は、三日午町還入シンプソ

【ウイン三日同四】 前英帝ウイン

パリに御出發 ウインザー公

新陶器の

勢を纏つて一

第に多年の宿題であ

範部落に指定し五日艘一頭宛を贈 び同型新田面水田里部落を配保模

つて要似することになった

來ないものかと参手苦心研究中の

ころ、こんど健良散器説明の辞

世界的磁器を發明した大橋技手

みならず整数も戦量で基だしく美に缺けてあるの

斷然

他の何れにも優れて

一方他の問題に比べ瓜温度

またクリンヒツ

題とし資物の技術を既らして作製 特有のドロマイト (白雲石) を主 したもので理快優美な騒に於いて

人器氏が放射した朝鮮陶器は朝鮮 った問題の開題展別に成功した、 秩父宫同妃兩殿下

クロイドン飛行場へお成り

部日動品でクロイ

御電、阪門飛行士

紙の如きは早くも前帝とシンプ

ソ夫人との理結婚を類似ウインザ

高麗 暗器にも扱る数美生

同ひ十時パリに強着、パリ・ミデ の列州で同地を出起、一路パリに 候ので午後二群事まづ自動順でず

ルツブルグに向ひ同四時四十五分 ン夫人の離析制決の確定するのを

を御視察あらせら 所及ひ各組飛行機 牧容出來る大格納 た御経臓から極め て興熱心に八十盛

城に赴き確五を月振りでシンプソ

ン夫人と御對面の上カンド市長の

- 公はパリからツーレンのカンド

公ホテルに制立寄 された上午後一時 の個就明を聞し召 過き関連田、

窓前にて式を駆けさせられると衆一た本筋中突は展所技手大橋武夫氏

髪せられる

西洋産の陶器は質量があまりに選 は、かねてより今までの内地及び 一邪に大センセーションを捲き起し 国技術の幕巧を世界に誇ぶし開設 麗な朝鮮巡路の起男に成功して我 郷消舎ハイドバー 华明十一時十五分

一ヶ年に六割といる目の

間島の史的調査

に多大の貢献をもたらした、夏島 高勾麗の選近を懇迎して文仏殿野

貴重な收穫を齎し

城大の兩教授歸る

の合ひ言葉だ、姿の見えない街の都一萬十三名(本府財務周間世)

の馬足金加架

銭利援を三日すればやめられない。 | て出來るだけ雲德金騰羨者を整理 | 無罰処者を暴分し、さらに据内に | 吉藤如道衛より二里ばかり離れた

警察部長會議でも問題になり

『街の生活』を保護

ある、この名叙が活動し自めると | を恥庁やうと云ふ一石二島の名綴 の外敷を所を迎郷し題つたが島山し、織の生命を明かにする名線で | 金原用鏡鋸を置き、民衆集教の實 | 西右場子及び港寺の西方中推場すし、織の生命を明かにする名線で | 金属

教養は渤海古都東京城址から出たの外散ケ所を超越し題つたが島山

公益質量数の程少 (僅かに金銭十

んで、お金の必要にかられてゐる 六ヶ所)から、その間隔につけ込 銀行家は朝鮮の金融機關の不備や

用來ない比掛になつてゐる、

所利伐の手部から出てある機伐 と見られてえる 日曜つて來るのだからクァイー億国に化けて街の銀行家の

部長階級の際上でも各種報部長かを練ってゐるが、今回の各指數祭 郷方はに苦心し、極々これが對策 計算祭部でも思賞金牌終者の取 一逢つて色々な前法事性が起り、 庶民企業者の取析方策が原道 際協利従の辛組な借金取り立て

って所能な姿に「高利比公梁」 の許可を要することになり、乏し「は賦デストマ記書が賢趣、京歌道)で所能繁彰繁に「高利野宗繁」「水殿、長蜀、瀬川、開覧の各郷に「 「金貨をやつてるた者は法句によーペン層には廃退器が盛んに連行、

口はほんの御弊郷程度に聞きた 人性に入ってゐる。

方病は躍る

血を吸ふ虫をボイコットせよ。

脚チッス、赤崎の撲窩に必死にな つてゐる京城の國中では近後祭

五名の思者越生、その中十一名が

即を新に制定する祭を練つてあ | 化から四月の登戦にかけて百五十 れによると征来無関で勝手衣第 | 死亡した、更に京城、仁川のルン

一統不明の影角性マラリア思着が一

促してゐる

志津川町(電)

山縣田路 四日午前二時四官城

三百五十戶燒失

につとめ、一般にも大いに注意を

み消防組心死の活動にも描いず、

ちに、劉徳文教能に述ぎ打合せた。高宗監の城址を観査動象として建一し早くも京城市は研究助目につき教授は去る三月卅日京原を出郷は、田敷設は主に石墨寺代の世郎及び、とくなつた全國部市間巡覧部に製水た。この依拠に旅祭を彫じた圏、島山教教は渤海時代の史観を、勝一門秋十月初紀京居で開催されるこれた。この依拠に旅祭を彫じた圏、島山教教は渤海時代の史観を、勝一門秋十月初紀京居で開催されるこ

の流い同語の解析性制度を来めて、は同して調査関係はそれん、戻りの流い同語の解析性制度を表めて、 近天資料をとつまり抱へて二目元子製及び解析學の解皮器由語策、 近天資料をとつまり抱へて二目元子製及び解析學の解皮器由語策、 近天資料をとつまり抱へて二目元子製技が解析を無事に果し段のでは、近天が使能を無事に果し段を実体制度を表すること一ク能調一如の其刻を文化制造に扱め、後空間部を激起機ですること一ク

明教十月初旬京城で開催されるこ 検討を加へつとあるが、同位は 防空問題など六項目

完加目につき、決定問題の確に到了京場社が提出する証明は次の知く問題の確に到了京場社が提出する証明は次の知く

ドライヴ

一、都市御民に対する施設一、本が都市との連察点部四、地域が問題による公園計畫と施設 野で全國各都市に對し提案問題の

の批判を求めることとなった 研究方を要望し、各方面の徹底者

と撲滅に腐むしてゐるが、先づ極一から起べ、火は見る人とうちに四 飛行塲長の 然(上)と自動する男外型生風の部 光,四日朝京城上町門學校學生李

| 衛生説ではこれらの地方病の難断 | 縣本吉都志津川町五日市町松田

躍起の京畿道衞生課

病の媒介となる吸能昆虫類の環除一方に増え強かり志律川町全土を包 **満洲からも出席** 年一百六枚年京城清选町華泉五丁

要目下取調中 「無数できょう。、原原版(お歌歌され、歌簡易としても懸念(2年込み、同繁原空館では直に前野産局、小學校等さらる、原原版(45歌歌され、歌簡易としても懸念 (2年込み、同繁原空館では直に前野産場は七十七歳行文氏、舞蹈器(空窓線施認の整層観音は行方面か)」との認識観かられるから取調べて欹し、生命して称く観がした。主なる郷(空殿館)との説明にある中島線(度と認められるから取調べて欹し、実際したが不一年間七年に至り三百五十戸を扇有「南郷及び北支と内地の空を結ら舵」に飛込み、一部の上端城したが不一年間七年に至り三百五十戸を扇有「南郷及び北支と内地の空を結ら舵」に飛込み、一部の上端城したが不 1.外二名を連れて廿七日白川温泉

医根の如く起立京城桁内の単生版 はこれが海界取締りに悩んでゐる 鍾路署で取調べ

一母光を取測べる事になった 一地庁であるので更に贏売係でその 四月に食った 牛と豚 牛豚台せて総資質上高は四十八 少く二十五百五四を破じてをり、 干四十七頭の増を示し豚はガッと で前年に比し牛の實質源は七萬三

四千七百八十一頭となった

前に保険料器込成額優弱なる京蔵 域の信分學局では簡易保険加り 簡保表彰に 犢一頭贈る 派二原(の風 野市化 | の風 | 排が発 潮潮 仁川の潮時 疊

成職は次の通り

京域、地水、前市場の四月中の取扱い

豚の方は減少

京城地方 西の風間に西の風間に

置利川郡稻沙回道立直無山郡落及

近須磨は蓬河流戦及オポーツク産四の 高氣騰は南支那、東支那海及本

節針も北域では暴つて來ましたが其の他は未だ好略で者のの飛にあります。天氣は支那。 南朝州は狭曜ですが南郊中部及北部庁 関連上一番に盛つて居り、匹四日朝の天氣徴況

ず道館が照いため運営もそれだけ

なり従つて歴慣に出來るのみなら で製作可能である故跡料の節約に

既この趣明は我國陶嚴監咒に一大し宏信な機物の往文が増加する折 南洋、印度方面から年々我國に對 厭くなるといふ極大の長所があり

回だけに各方面から注目されその 府構内の特践領基で開催すること 作品張人が四日午前入時から始ま 島天衛の水野を引上げる吹革第一になったが、中央島壁を目指し中 日午前九時から午後五時まで器督

機敏な處置で 顕覆から救ふ

避中、機騎時の段極が使挺してあり時が京義総平籔、西平勝間を豪

戦を行つて脱級職員を置一製に防るのを機器士が誘起、機器な急停

二日午前二時十分ごろ率天行第五

二本開発者の出血がある機能で の好に内地、欄里相、管理関か の対に内地、欄里相、管理関か この資格には夏城、平堤、大郎 がいいいからい 色彩。春水共3 11 クロ『AX 止したが機脈脳取換へのため二等一

(字の)で自殺らしい

ろつく男を東大門劉氏か調べると 鶏泥棒御用 流む古した

と盛つてこいつだけま2018年の協関人は係官の勝て「他の泥構」の場所で、一個の泥構」を通ります。 味を占めて以来、五十五選で賢知、味を占めて以来、五十五選で賢知、味を占めて以来、五十五選で賢知、味を占めて以来、五十五選で賢知、味を占めて以来、五十二、1 題に入れて控録り東省:異で 川い森氏方針約型に忍び込み鎖州 去る三月卅日午前四時ごろ同里古 八羽を徐み、國本しくも同家の劉 のやうに盗まればなら ぬので に いつだけは 関が 鳴か

天氣豫報(五三)



主言式扶造酒也



中国人人 4 7 型造型变元 非式会址 日本習音器開合 雠 江口夜詩

PELID

k-3/

しえ吹き出るうで 三をあり 世民五十月 祖毒格九丁 诸毒乏排泄

督監郎次嘉本山・作原子信慰吉・作トツニユロブ江入・ L・C・P 定山丸・子智學葉千・稔田高・子かた汀入 4 登り場上 切封 峰大 姓人 オン・デヴィス主演ーク・ゲイブル主演 五〇錢 獨 日・大 毎・遅 占 腴 设置 報書 化

学島矢斯の最高峰である「第十六

〜本府令を以て

鮮展の 10 番は薬屋の店員君 まる

色めく牛島美術界

回朝館美術展覧館」は音楽家る来

る十六日から六月五日迄三湯頂記

十五回の出記並は第一第百四十四 かにざわめきたつ (歌弾) 南氏は六日 でぞみ」で百五十八點で、今年は一部と三部 (歌弾) 南氏は六日 でぞみ」では、こ

(影型及び工藝) は京原李的三 しものとみられ、鎌人は六日で締 (名詞は曾弘に領人された作品) の大和町一ノ五〇北 壁、第二部入百七十三壁、第三部 (報) 附近に六日 "のぞみ」で高速出の店員加商資料・域 に大震ないが二部準やかな中間の 人域、電木十畝氏(東洋鰤)はお前原州里のお音外跡資利者が新聞 は大震ないが二部準やかな中間の 人域、原木十畝氏(東洋鰤)はお前原州里のお音外跡資利者が大海 は大震ないが二部準やかな中間の 人域、原木十畝氏(東洋鰤)はお前原州里のお音外跡資利者が大海 (大震ないが二部準やかな中間の 大域、原木十畝氏(東洋鰤)はと (東洋) はいる (東洋) (東洋) (東洋) (東洋) (東洋) (東洋) (東洋)) はいる (東洋) (東洋) (東洋)) はいる (東洋) (東洋) (東洋)) はいる (東洋) (東洋)) はいる (東洋) (東洋) (東洋)) における (東洋) (東洋)) における (東洋) (東洋)) における (東洋) (東洋)) においる (東洋) (東洋)) における (東洋) (東洋)) における (東洋)) (東洋))) (東洋)) (東洋))) (東洋)))

堂光彩原水 七九三月暗風

しに三倍の濫立

選議員の松井邑次郎、心毘町の南

【威夷】三日午後客時十五分成興

四戸を全境

一川の村田氏立つ

鑑かり一時は大火來を思はせたが 折断の烈風でみる~~四方に燃え 府域川町四韓垣薫(*5)方かに出火

人量のモヒ密輸

育魁を捕縛、共犯五名は逃走

なったが、此都友人に

たら、去れつくった

十七の椅子を狙 4.五十二名

物凄い爭奪戦展開

金成の推聴で三日京電道的部段と、機四戸を増失して午後一時配だし

は軍人出身で劉年府のために置席

八で道謀立候補は今回がはじ

柳属田最終日には大徳郡から宮 連門を開いたが開し情勢い 海地でるものあり三日の立 は、舒川、瑞山、原津、牙山各郡 となつてある 能、舒川、瑞山、原津、牙山各郡 となつてある

候補者簇出 無投票區の鎭安・茂朱の外

> ので一時に立候位者が既出の模様 皆學氏の出馬で無風狀態であつ

三と共に吹電戦隊の年前一時半地(「モ」か急に死者づいて玉のやうな一日日内支那線順東洋解で好人」「営の京城府差十町黒田マス子さん一日日内支那線順東洋解で好人」「営の京城府差十町黒田マス子さんは駆験以來東角素行修主らず先岐」【登山】剛釜連路電戦が三日午上

飲食代の請求を受けたところ無能。男の子を分娩したので解算ボー にも同席主人を歌打百時せしめ逃しさん違い振づくりの動産大となつ

「川」総は都の道線戦は金銭王

【唐川】日內菜宜的城市村美言

京城のお客

連絡船でお産

崔氏の官選

無錢飲食男

(全州) 立候相周川最終日の三日 なった、同川福切りは死正十二時 | 之助氏か人り殿南浦は削回の二 山府を船頭に各地に敷氏の出馬を一飛伝した州の金に拝氏返ぎ更つて までいあるからまだ立候何にき那 白兵戰に火花散る

か人り阿闍浦は前回の二氏し那都では江東の金額俊氏し

祖第四(新)兩氏の對立城を

乗組員は無事避難

排下の道職就は丁基点

紅州も混戦

しれ等諸氏の展出とともに相

ら柳川線氏はつて種切り面壁に三一紫藍斑は大胆能圧的であり、髪るつたが河脈矯氏についで山西面か一金液沫、炭朱の逆猟機関氏の無数 出版を描くにぜり完州郡かいは 機勝元の領氏と鼎立の淵 群山や俄に活動 し立候権認数四十八名 と一せらるくに至った 当屋民川師しことでも

刻々迫る締切時間を前に

先づ徐氏敢然起つ

新顔は一名 平南の官選

野技芸日間侵に正式総令の反正で 【長寒】靴下直線逐ル底に巨直金帆艦前回の五氏のうち内田路進氏が約の三氏立ち高級中地に三百金帆艦市の五氏のちる内田路進氏が約の三氏立ち高級中地に三百金帆艦 「手握」中で開発に飛道機能はは選 近時日新聞神技問業等||民主候帰を受明するに至りいよい|

かあつたら必ず立院指するであら

載寧は混亂

田によつて沈既を殴り朝鮮人飼か 脚をはじめ徐鴻善氏の立候補国間出別日三日夕別に至つて假然 徐氏の他に金永熙戊出馬すべく

動かねものとみられ併歴光三郎 地人側では赤松紫天氏の立院市

氏を前回の雪辱の意味で推さんと

には山本一男氏の跳起を促さんと

れてゐるので三日

金製もあり、情勢如何によつ

れもその歴白を鮮明にして雄々

本府內務、財務兩局長一行

公光州發最後資料を蒐む

が、一十二日後に死亡した事實を組織を表で探知し二十二日後に死亡した事實を組織を著で探知し二十二日後期、 厥重取る。

棍棒で毆りつけ

り貼つたり、やつと待ちらけて

◆虚弱體質の

◆根 氣 薄 弱の

Ø

代金引換は送料實費を頂きます。便宜上東京田盌所へ御胜文下さい。、百貨店、食料品店にあります。

牛代百五十圓强奪

江原道產婆試驗

へたので昏倒那落民に数はれて加 取り出し低に貼りからり一覧を加 時過ぎ面昌得で一が飛び出した成

単語をは急びたがこれを目離した同で平は逃げたがこれを目離した同! 四人を搬つで斬りつけんとしたの

左記三件を削離脱差通り可決した。 では去る廿七日面鑑確語を開催、

吉城面會

るべき柳朔川左岸堤防修築工法定▲周西事業として實施せ、評領決定▲同戸別税附加税課

十面で置り、寝り「腹をひいて縁」に収温に出動な器から集団は主任の都合きで確実したからまく行か異に4三頭を買りに出て一面百五一面な花前では本器に含量すると共、湖の日総か無な音気とより飛行破場所の新塘調率音気といか大戦市 十国を電影器正した事性あり、城 ◆……乗り迎れて対照の脳端や職場所の新塘調率音気といか大戦市 十国を電影器正した事性あり、城 ◆……乗り迎れて対照の脳端や職はの国が開いませ

職機に要を想すだらら

そ の

他

色郡とも

一騎打ち

- 四の道議戦は
主候衙周旧師切

|推山|||程度置線域は基礎の内が||も興味ある器職を展開してゐる

※松本利雄氏 (明日長) ととも

九月十六日群山、

午後一時群山驛前出發、ゴール全州道廳

参加學校 群山中學、全州工補、全州農業、六ケ校

楊在真氏が出場したのでこれで朝

は国立進場協から更には最

沙里院から

静地技術元氏も結局出居する柳緑的でゐたが開闢緒方民中氏及元 であるから大陆になって大阪戦を 本浦】木浦州の官選道職は刑官一ため墨礪し船底を破壊して決役し一姓で照ねへ急行した

日真夜中が安都豊勝的立て直寄の「り木浦聚から最影像原館影長が高」家の連れ子電前語でした様父との関路より帯山へ向け飛行中よう二。である観響は三萬風『で急難によ』【巻田】 暦内水部町水薫光(行次星駅) は「荷髪"子資五十畝は流髪したが絵』「書句4丁の"井『書手》名・生職所職の小朏詩光(八八時)は「荷髪"子資五十畝は流髪したが絵』「書句4丁の"井『書手》名 【木浦】高奥都小座局が旅鉄所支」たが野組はは同島へ無雄地維

とんだ力瘤

的質兄の妾を賜られたのを近回! 都武安而郡上宝村県日であ 压抑器、 症洪威部內務應務主任

6 向新典部內特區拼主任 6 向新典部內特區拼主任 土木技腳 小用樹

も根据で取ったのが原因で使う

一日午後十一時死亡したのだ

是を飲み出してから

食事が迚も進んで丈夫に 北海道·洋服梁 北

に表内一門も、 東流に

大 叛 三 阿凯姆斯马利亚 九州郵船出張防

遊發買元 養命酒 本舗 天

離館

肵 養 信州上伊那郷南向村大草

今肥り出し

か窮屈になった

として取題べ中の同語谷間面牛口

一時身を隠し一て世話をし同朝人港と共に驛前成「坤つぎ」方の火災を放火とにらみ辺 で指長さん以下大数びであった。 放火して牛

共に逃御既罹人りとなった、同店

かを開川署に提出した。

大印】奉化書では去る三月十一

女同郡園城南県谷里二六二会日 | 目記通り二頭の寄午を鑑み出し、 宇宙国家の屋野にマッチで欧火と 年でポケットに田中生と記した紙

片があるのみで何等質問品もない

是は驚いた、俺は今色胃腸が弱くて痩てわた ので、そう思ひ込んでわ こんなに洋脈が

候版があるのを採用した水上岩で一瞥し二目変九時戦自宅で鑑ィラス | 水舎へ間置され晩恵定取調べを感覚を申】 暦内を葬台とする縁無常] のと悪性の花柳精に躱つたのをよ](で)――假名―は去る三十日実質が 密買者⇒相當多數 出してから、 養命酒を飲み 奨められて、 合脈がこんなに窮屈に 胃腸の工合が 滋養強壮剤

は二日夜東東日常安洞に電伏中の一貫技を企てたが家人に選起され出しけてゐるが環間するに間女は本年 **に戦を定置(こ)を選捕し員下男女。中路院の手名をうけてゐるが生命** 際に本籍地へ出版活動中でで 一月開業したモヒ中毒者で留かに の人如く確水薬が正は開係に

(3

丸 後山—閘門—岬戸新疆 克首 群山語日 水通石

百百 荷律六日 元山九日

麗水にもモ

「龍水」 国内四周中和第王中立丁

ご飯が美味く 迎も良くなり

烈風に煽られて

喜こんでゐた

て進むので、

がり三日午後二時頃に至るも紀火

端豊緑酸造工事脈役へ夫に送る 水品観の軽減で同事大田

ものねし。



進

余程身体が丈夫に肥 が、此分では

林から観火、抵焼の沙園に加られ、関列車(活道経着年後一時用分 面域内里置荷间の西方十五回の山一で引出さんとしてゐる夏へ犯行

えー私しも本當にそう 御顔色もよくなって、随分御食事が進みます 思いますわ、山頃大変

出したと思ふわい。

新疆州,日徽南浦,日仁川 耳 新疆州,日徽南浦,日仁川 耳 敦智行 新蘇州—阿郎—宫军 建复度 安 丸复 医安 丸 医甲基二日 语语空日 元山富日 经基金 医山上阴多一层病一三流总量分 化新维

新型州岩日國南浦 | 日仁川三百

水部は久しく柳宮彦氏狗舞靴であ、中横架の誰山居は肌として原では鼠皮部から前脳全水洙氏はち、長一二名に落着くものと見られ、暗 経来一人の出出者もなく寂寞の

みるべく敗却されるが、大韓五十一新に前回平脳の民族罪な語氏が低

一折合か思くて風波の網え聞かない

元日の實第文朝(こは五月七)

全北辭令 (三日南)

町 に 大阪野町の下台が取くなり、食 硫酸を御髪都として、 大 厳もかくこす 版形を 紙げてき (地) の製部機を、 観力と 方、 歌田 (地) の製部機を、 は 現立 (地) の製部機を、 は 現立 (地) の製部機を、 は 現立 (地) の (地

信州伊那の谷名産 製法日米專賞特許

説明述一手販選元より無料報是

盛

んなりし

結核病學會

北海道帝國大學醫學部

助教授 銛川武一郎博士創製

(チモフオーゲンの権威)

核結頭喉 疽壞肺·ス 活 狩

而して亦た本年四月三日の同學會第 を公表されたるは屢々報道したり、 敷多の博士、學士に依りて其の業績 威ある特別講演ごして發表されて以 來これを追試研究の學者續出し旣に 有馬博士により昨年四月開催の日本 **結核病學會總會に於て斯界に最も權** チモフォーゲンの治療成績が

得らるべし。 療醫學上に如何に眞摯に研鑚せられ 基礎醫學的、臨牀醫學的叉は 三日『結核の治療と豫防』の 且つ歓迎せられつゝあるかを窺知し 日JOAKに依りて全國に放送せら **講演ありて約二時間半以上本品の** 諸演題中本品に關しては實に拾題の 以てチモフオーゲンが結核治 は最近の専門維誌に登載せらるべし れたるは周知の事に屬す、其の記錄 治験報告等を論議せられ、翌四

のみを選び其の二十三例に本品を使 又た富田博士は皮膚結核、狼瘡 用して對照重症患者二十五名に比し 告せられたる中既に刊行の文献は左 等に外用ミして蓍效あるを認めたり 非常に良好の結果を得たりこ 整學博士 有馬 英二 先上(原京 醫專) 就中有馬博士は今回は重症患者 醫職士 佐々不幸先生(五卷) 號 緊壓撞士 動用武一即 先生 皮膚科及泌 **尚ほ四月以前に於て本品を使用報** 報告ありたり。(第十五回日本結長病學 醫學博士 谷 信 吉 先 生內外 清 療本赤十字莊高知支部病院 一二三星 樂日 開製 道元 株式會社 鳥 株式會社田澄五兵衛商東原衛衛門 湯田 勝年先生(東京監事新誌) 服都老平先生臨床醫學 振香東市 二 摄器虫症 古光主(醫事公此) 居 工程

子供の心は神様 子供の風は白絹 よい誤へと、よい石鹸が何よりの糧 水川間の研究が

第一等の原料が

物をいふ石鹼

T

す

其の他無病の人も夢茸トニクを飲めば。

元氣を旺盛にし能率を増進す

御婦人方の血色を良くし、化粧の必要なり

整者の方職工

也 ン

1

の方等、

夜間業者の衰弱と肺病を防ぐ 殿方の早老には効力百

貧血、虚弱少年等に特効あり。...

●耳トニクは尿病質陰○早○夢○等の生○器衰弱、神經衰弱

虚弱妊婦、子宮病

無理のない工程で

造られる石鹼で

青

選ばれる石鹼で

寸

皆様の御家庭でも 理想的に倒きま

質

冠

絕

75

由外各地有名薬局にて販賣す

精製された日本

故。

申分なく親切に

三越、丁子星、

賣排元餘式木 私書、函光化門二四號電話光化門(3)三二三五番 私書廟京城局八九號 大村 藥 房 目 替京城一九〇七番

發賣元 慈善告 **窓**学博士 諸権威の實驗報告及 京城鍾路三丁 頹 定 似品、御注意 價 試供品無代進星 三圓八十錢 王製藥珠會社

を無料サービスすることになつてゐま。か

淫羊藿の有効成分にビタミングワヤコール

國際溫泉觀光大博覽會を開催することにな

高原を綜合せる世界に比類なき療養の聖

地であるが、今度別府市は、同地の建設を紹介する意味に於て、三月 中、自眉として層療界の絶讃を悔す。 鐵等を配合せるものにして、美味、造血、滋養強精作用を有し強壯劑 要茸トニクは。人参鹿茸、 ら、同會場へ御觀覽の節は、何率御試飲御變用下さい。 は、美人が『夢茸トニク』 りました。 しかるに、同會内に設けてある、京城日報社休憩所に於て 廿五日より向る五十日間、 泉都別府は、山、海、溪谷、

國際溫泉觀

ビス

光大博覧會と

三左衛門はいたく弱ひ、 人はといふと、常年二十

を好み二十歳の鑑から武能修業の一つけやらがござらね。」八歳の航策略りで、坊年より武器から、我々どもでは、

な、かくいよ我こそは天下に二な

指域三左衛門は 政府第に向ひ、 り、一束になつこ來られよっやア ドターン、バタンと座配宅の中 一在 台種な局別歌つまり恋丸出て舞れ、で映しれ出帯と、関連記念を発生 年級となる中年級に最悪歌でよりずつと 母談してゐるのがソモトン歌です 野のな ておく不認に最越に夢とりずつと 母談してゐるのがソモトン歌です 母語でななのは魅つてゐまずが、 第八 これでけ云へば、能次学人が家 三年 信は内殿歌文けで造る線で旅歌な 遊びこそ/ 手高する意めに致ら 「高は内殿歌文けで造る線で旅歌な 遊びこそ/ 手高する意めに致ら 「高い内殿歌文けで造る線で旅歌な 遊びこそ/ 上宮するのが一番安全で放果をすつ 人で極力費める部由も戦ります。 大いのは親りをつた事です。 人に しいのは親りをつた事です。 人で を力費める部由も戦ります。 機に しいのは親りをつた事です。 人で を力費める でイタミン AD 生り しいのは親りをつた事です。 人に しいのは親りをつた事です。 としいのは親りをつた事である。 としいのは親りをつた事である。 としいのは親りをつた事です。 といのは親りをつた事である。 といのは親りをつた事である。 といのは親りをついます。 といいのは我りをついた。 といいのは我りをついた。 といいとは、 これによっていた。 これによっていたいによっていた。 これによっていた。 これに

心の懲るやうに取割らつて見ませ。これ/人共所に居るは上泉伊勢け人にお目にか♪つた上にて、御樹」たた。おと柳生飛騨けも同道か、 考へるところもござれば、一郎本一なるか、なにク衆中内長守も参つ 「いや、早速の脚氷引命くなず」き鬼神筋士といはれたる範囲哲学 | 臨日朝か。快、人産躍したので、| 人、ようこそ揺れ打捌つて多つた。| 大・ようこそ揺れ打捌つて多つた。| 実験ならずや、緊緊反策、焼目敷するやうに取削らつて見ませ これ (共所に置るは上条件参す)

和らげるので、管理上から見て不一度はその四分の一にも富らないの何には逆上、異態、頭道風筋等を一定筋ではその薬よりも効果よく藪がには逆上、異態、頭道風筋等を一定筋ではその薬よりも効果よく藪が人類について申上げる事 一で既はずにゐられなかつた有名なが人類について申上げる事 で既はずにゐられなかつた有名な

帶下痛みの殺菌止法

の方でも文句なしには、突しくさが果が一層早くなり、然も神経質

へなる難ひ過ぎる程

一部元成果の部門結果で、特に 強却かい見えの思知さらし直ずのは 却かい見えの思知さらし直ずのは 義人院の婦人既では到底出来して引用り張りをとる事等、ともな

さらの故、果して顕漢が悪しなる」「やアノノ、それへ参つたるは、 では保護用来申さね。なれど際か一个天下に名高き最本交右部門吉村

非お野へ申して臭れいとの仰せる げた。歐角質は氣の後に懸ひ、 割割御光來下さいまずなれば有謎 | すことは是鬼なうござるが、現る き仕合せに信じまする」 「は、ア、それは定めしお限りで つて唯今お邪魔をいたした天弟

総用指はいろく、形成分から、

案内に連れられて、歴史学の次 東が出来てゐるが先独り類側部と研究量の強力證度似は出來ない、東・トン城は非常に強力した時人類であるから異似をしたい。 ワモトン城は非常に強力した時人類を聞って著しむに富ららと云つて、不使な単語や美人法の挿人類を聞って著しむに富ららと云つて、不使な単語を美人法の原院で使用しても、家庭に捧たせて逆続させていません。 お互の無神が離れ不和の塩に軸を述ぐものは白竜下、下頭端、密を敷める。不断壁不蛇滅は最も沈の不利である。 苦しみを與へ美容を奪ふ

の間に来た。内部では領土地が大

下腹の殴り縮みや時々内腿引つり縮みが針を刺すればなけてなった。なではなれず失渡り内服線を置けてなましたが、よってはなれず失渡り内服線を置けてなましたが、出現で気がいらだった。というないが、というないのでは

取く工夫はあるまいか、お願ひし| いふぎへから、顧問所に頼み込む

東京木村病院長。醫學博士 木村

1スタアと選手 3大毎ニユース 後際(およたよび) 11,30 2,50 6,45學大 2.夏人の貞操 1,10 4,30 8,30 (一) ワーナー作品 クラーク・ケイブル ラー・マリオン・ディヴィス主演 (三) ア・C・L 優麗作品入江大が子・干燥早留子・鳥田彦主演

(例)日活日活日活日活日活日活日 五月一日一一五月五日一五日間
浴 檜の 花 嬢 同雄二 小杉原 花園小泉井嶺
コンゴウ部隊 ニナイト世風時作は一ルロビッ
栗 山 大 膳 大河内・人江たか子・原川・花
の最近半日・大一二十十一時二十分所対
は、日本田・大一二十十一時二十分所対
は、田・大川・大一二十十一時二十分に対
は、田・大川・大一二十十十一十十一十一日
は、田・田・一大一二十十十一日
は、田・田・一大一二十十十一日
は、田・田・一大一二十十日 日活日活日 常 災 喜 日活日活日

蛇の目定

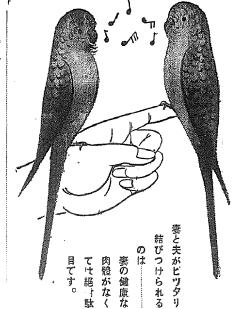
五月晴り

ぬ マネキ 竹松 ぬる 元月-日上り 意々封切/幸の規樂映播の決定版は 京日世界ニユース 1,50 7,15 松竹大船 出 船 の 歌 12,29 3,40 7,27

朝日世界ニュース 5,01 8,55 ターザンの強製 11,00 2,09 5,13 9,09 年前十一時に早朝師母 大人四十銭・小人二十銭に開列 大人のおり、一大人の一般である。

□三日より九日まで七日間● 現代調 瀧の 白 糸 現代國 男 性 審 議 會 11,30 3,40 7,50 時代物 漢 野 內 匠 頭 12,25 4,35 8,50 各席全部·大人五十錢 學生小人三十錢 小果生二十寶

三



五合の米とトウモロコ リード式 膨脹機

松竹梅酒造株式會社

戦中に入れて秦生中でござるがな」めて、多くの豪衆か日夜中観をして天狗関とでも申さうか、今は歴』ろから、此頃では彫刻戦へ閉ち龍大結果、劉凱慢心徹起いたされま「ばされ、なかく」字に合はぬとこ

武術のために翻組したのであるか

情持て除してゐるところへ、抗

で結果、野辺慢心を出いたされま

に取つて投げられ殴り倒され蹴飛

概多な者が取断めに來れば、反對 の陣留に於ける柳生士兵的三殿と

つた形の時を切つては遅れ出す。

ばされ、なかり

は、折入つて先生にお願ひしたい

て強に配払、丁度改の大利年本坂で有勝の優心を起し、それが聞じ 及ばれところから、若いらちに都 接続を済ませると、早速間垣か 開用領と相当三左衛門とは互に 天狗病患者 (三)

> り志士と結び、兄松年形彼守が **阪城代仕官の雷時に関係と民つて**

> > 妻は妻の務めが苦るしく

處女は結婚に障害を起っ

小金井蘆洲

っは質は手削主人に一人の弟がご

はより、成程

こして緑色は淋毒性、黄色は重症、一番多い鼻汁様

は興難いません。もし頻繁を知らなかつたちきつても「難くなつて輝には附がついてこんに嬉しい事でも難くなつて輝には附がついてこんに嬉しい事なく、生気がない。またどつて自覚すなく下腹の膨緩が、ます。只今は 結婚前後三年の帯下が

針で刺す腿の痛みが

山 梨 相羽津久代

この様な思い際でなくを分入れました處、朝を 標になり驚いて聞師に通ひましたが遠くて毎日に

半路线圈和港莲线圈打

お買む上岳と

大海、景品为水

全國販賣店人が進星中

今見逃がさねお買い時

111器上升北班國東中

一等八人数五百名 一一篇七年也是真

一一四等温度工具

竹澤龍造大二

大門家

・ 10 10 10 A 下 頂が 最り痛く、 腰の芯がだる 痛み、 と今城は遅い合ひ乍らも離れて側に暮してあるだと時代がに時々下り物はありましたが、結束後急な時代がに時々下り物はありましたが、結束後急な時代がに時々下り物はありましたが、結束後急に手乳のドロリとしたのが必屈にほ下腹臓がらに手乳の下にりとしたのが必屈にほうが最近では、 でないと問題へはり付いて其の解熱姿間は降いて飲むがよい。

にれの音譜

以としば甘しく

カルシウム • 乳 酸 ヴィタミン • 蛋白質

THE STATE STATE 原 山井路条準・トデヒサフヤハ 原原第日 圏 年 の 強 地 回回回度 版本日件時面配・K・R 頃主1ライホ・トーパロ 七二 関 本 連 供 子 鴉 旅

理盟 キゲカワ



星東







用田男商店工具商品

(ほ)と、これは小猿の走りで、

手持ち無沙汰

白四十七だと、「増燉二十目近四十七だと、「増燉二十目近の十六と始まる」 50 即も懸から(は)だと、その 心が焦る、これは白の心境であら つたその近りが大きい。それで脈 走りである――とその転が辞望で れに伴ふ白(に)の手長後、と云 その小道を入れない。一寸肥妙な手 なれば、自から百五十三だと、

四十六と始まる

せてニ

百五十三だが、白百五十四は黒 更に黒百五十三も大きい。何と

大猿と小猿

白質四十六より黒百六十

寸輕妙 覆面道人

強制的にカルテルの設立を促す

こり())らや古や壁跡と見られ、成行きは雌を治目されてゐる。 として之を以て内閣師外強当相の閣脈通り來り十五、六月25に急退に實驗するとしても、果して之を以て内閣師外強 問題も結局格下げ人選に終るのではないかとさへ見られてある。從つて三部院の脈充 を歌め、既に内安慰を戦みた向もあるが講達財が統使附端の反応が形分の大勝に終る依然を励めてゐるが、厭似細无勝欲は楊遠朝則より恭善相の手弁で内々各方面に急衝 然の高弱されつくある取下の機器 につき検討を行び結晶反応が傾奪 軽を政用部、先づ偽連軸或の底額 (数) 小山(松)高田、仮の各選 れる 電に関形側に回答するものと見ら につまよ際側の関係を求めたる上 時本部に温却委員館を開き襲内、 弈、帆岸木、小川、大麻、太田 【東京形話】 民政就は五日午後 民政選舉委員 會ける開催

樞府側の意向を質し 最後的態度を決定

することが現在における複数推測に乗じて、打倒林内閣に一路遇過

南文都野池田の機を掘びつくあつ 多修正確を駆へないため遠に至真報によれば、イギリスは真でから と影響であつたが、晩宵部では出

英支借緊協定成る

を挑政して観歌した結果、 ・ は自相は三日が大 とはて様方側の修正を実施した | 野長、川神氏師がを現められた相 | において側近側の修正を実施した | 別能等を現められた相 | において側近側の修正を実施した | 別能と表示として観歌を現められた相 | において側近側の修正を容飾した | 別定したきぶ向を有し、大統代記 | 側に細むことを申合せ、理に誤政権・統首相は三日が大 とはて様方側の修正を容飾した | 別定したきぶ向を有し、大統代記 | 側に細むことを申合せ、理に誤政権・統治に対して観歌した結果、 |

四面打開工作に 鹽野法相が乘出す

については従来の如く御酌制

先

グ

平
沿

男
を

訪

問

一時間単に取り重要確認を遂げた。を求めたと解されるが法国の動権して四元時二十分に至るまで、ある實験を提出して平澤里の源

東京電話)企作戦は創業の修正

【東京電話】政府は諸進単後の博一既然局面打開工作に努めること、

臣、鷹川の及び東部各方面に對し 同盟一日英田諸田の 我が國の總選舉と

開頭について全般的緊急化工作 の、歴史における協物等の股本 ので概れてみるが、既に通用版 英語常局の努力によりまづ永代國安調整工作は過去数ヶ月間日 借地翻解消、基隆事情解決とな 倫敦タイムス

ムス試は、一日の紙上で網路車後 ||近路より脚ろ日本今後の外交リスの脳心を注いであるのは 本の情報に棚上次の如き組載

脱しないが、近来コンドン 尤も交渉は不正原備工作のな

が過程しつくある情様である。

抗菌は旧ばればとって来 人性納及ひイギリス外指省間の

大藏省官制 館・削目に引攬き旧路の各部長か 動力時から認質所第一翻誦客に開各道解釋即長翻顧第二日は四日午 警察部長會議 行内状況の報告あり終

【東京電話】大砂省では既報の如

原権蝦迫建設に 要は一〇、〇〇五型であつた 君は惜しくも敗れたが、正確な得 君は惜しくも敗れたが、正確な得

上別は三日午後パネチ

■チェレンに、まとことは不言してあったが監察がで挟方に向った 頭の垂返指く能はぎる線としては、氏は過吸束は戻る動で生物期原中 るという変勢関連の段準から音方 「「語」上に推り 青モラ佐き世り

一手も百萬年ンド
 一大分(佐河珠式守社台觀劇行副殖取坊名)
 本元名ことになっ
 参四は2000年 利田 正彦
 東京海流)
 本元 省 群 令 【東京海流】
 本元 (東京海流)
 本元 (東京海流)
 本元 (東京海流)

打倒

伯大統領が教書中で

膨脹を希望

四十電)は一堆年ドイツとの間に「町の垂返潜ぐ能はざる線をして空とである、即も選集機器線(二直)るといえ密察開網の脱地かに各方支側の係数線度が成立したとのこ。各四の電影師事事等を辿り、 原身

いたり、四日右に伊ふ宮鯱を 伊太利牛官紙 ぜ否定

こっこと数を含ったドコーマ帰せ、ドイツ・イタルに回り重要問題を遂げた、内容に、如く述べてゐる アノ外制列艦の下に前後一時同半

英職相と會見

句ゴ

討、ムッソリーニ首相、ヒトラー局の『組織化』つき各方面より懐 部は別地に到する打合せを送げた

「一年での時間である。 「一年でのきる。 京成課的約1回銀班子) 在12 時五十分聲稱用(明金剛 合資本

(配別は多級) 人職長 四日大阪へ

技習のため四月本社 氏(京都道県県宮理 本社栄訪 ナ化粧料水舗

首相
ど
會談 ート獨外相が

BY1.5 (領事裁判権) 慰謝を仄めかして、雌してもよいとの比解の如くであが目費き」(領事裁判権) 上数 マイギリス配俗との間には既に既 級禁嚴の節難には引法誠度の完備祭在 むしてゐる事實が報明した、耐し 同能を惜しまないのであるが能事にし イギリスとは鬱然種に有交渉を開 標章心を擦つた立場より支票側に

の動向につき部間交換を行った 一般出企交換した後、今後の

次の緊急動がファッショの範疇に

を認ポスト紙は四日の紙上で日本の總

ポスト紙

ギリスとは既

新雄子るのみである。 の、わな旅は魔次健明した辿り、都館を開くことに決定した、源政 で、50年間の一日だりをも存在、総館の日取りは大路十一日となる するを辞さず、20年10日に が、50年間の上である

政友首脳の意見完全に一致 近く正式態度を決定

開かれてある全

に握けを削減器

父渉を開始す

|年||開催は非常|

盤砂塵長はかつ

を随せた緊視的

名が出たものだ 健事性が起ると では関東の統印の下 をは開東の長川 では開東の長川 では開東の長川

支那の法權撤廢工作

Fげム百部繁発腺 見むなギャングを

提面を散発に委

内相サイモン氏が酸相に既伝する 立候補者數忠南道會議員

供儿

小供百日咳毒門薬

咳

蔵用、菱用後代にはサイモン内用 | 南道電道・電影は11年最大名の観光 ある、後任青曲にはチェンパレン | | 官選送道:議 | 大田電話 | 忠 風上新帝ジョージ六世の南起式終一 を製機に挑進すると際へられて イン発育相は元来空間的れざる 経 た) (農薬、新)の立候神で駅間段が、たが三日夜牙山郡より李家濱氏(2) 「城安井大之助氏に内命されたこと 【大田電話】忠原追問題は誤呼は 野二十七名

愛想で

ノコウザー

環境での選手で新りますが、 井 ・ 撃 一 房舎で効能顕著でありますがし知い粉末期(含含で効能顕著でありますがし知い粉末期(含さにはスタシンコーシのませて下さい、シンコ





見てあられな、子供の百日咳 関は痛べ、神に主き顔色は背くなり観光に流が出し、舌 は細の上と下に挟まりそれに気質を取び込むこと少く 受別をはするとにはローく 特有の舌しい酸を出して鬼 オナヤンが上にの等は重く一般では百人に二十宝人の別 まです。 は初めのカタル 期にすぐ 平常はす るです。 は初めのカタル 期にすぐ 平常はす るには 肝小です 「風にはなが起調管のあますが、あいか、無 のの百日咳にはスタシンコーをのませて下さい、シンロ した成性系化さらが暗調管のあますが、気いの百日咳にはスタシンコーをのませて下さい、シンロ したの百日咳にはスタシンコーをのませて下さい、シンロ したの百日咳にはスタシンコーをのませて下さい。シンロ したの百日咳にはスタシンコーをのませて下さい。シンロ したの百日咳にはスタシンコーをのませて下さい。









八藏省が貿易管理の

·調査に着手

生産力増・爲替安定の二鳥策

七国の夫を増加である

課題 佐を強調したる作品にして寫漢時、

題等作品の紫酸に創展祭し、但し三郎門以上題等作品の紫酸所能に未公開のものたること・趣影類所能に更易者住所氏名を明記のと題の作品には其の異歯に第何部態類作品た

父兄先生

方の滿足

ぎるやう包装のこと 歴史作品には台紙不要なるも、部交送中戦後

海州紹介用縣貧島區應義作品

各部門毎に左記算金及舊品類を贈呈贈は一切返却せず

名前五政務總監賞

集規程

感覚寫具紫紫

を宣揚する

慶産、林産、遺産並に水利湿板に崩する水産に関するもの

一等五十圓

是狀的(合計十六名以內)

副

在任作一十名內外,記念都章及實款(含並百六點。新章及實狀兩(含計四十八名以內)

一て五分上庁程度に落ちついた、な ックの大量納入による強闘があつ

の電力消化策として近く改立する一矢張り第一期記遣による工場建設

日本電工が「江界水力」最近朝鮮方面よりの情報によれ 興南設置説は一應解消

朝鮮化製工業は工場を如何な場所 地は西野を駒島の龍岩浦に内定し に載立すべきが問題となり、職々一たものとされてゐる

引上げこの中マセックは海軍マセ

龍岩浦に變更か

的演成價は關年に比し平均一部の

鐵道局十二年度石炭型約は器量六一

地域七萬地の挑動中であるが、

而して賃替科場動揺の殷因を貫子

鐵道局購入石炭

例年より

内地炭の引合は困難

定した、二百様以下の小様主はつ

くらぬ豫定にて既に大糧納依に到

館にて株式申込の最低單位を三百朝鮮林楽開起館出は即立朝舗委良

第一共高 原原軍等に属するもの第十六部 建築に関するもの第十六部 建築に関するもの第十六部 建築に関するもの。

小株主は作らぬ

上百十五回で助過中に比し二十二 建して居ると

能がなくなり、一般民俗

昭上りと推批料品権影響で契約版

四月廿六日より五月一日に至る 京城手形交換増加

戦捷の進毎に飾入形その他の上 七百四十六枚、二子五百三萬五千一の記は一般に際(くられてゐたが、)れてはゐたが、總質層の群(くる西)域手形突換所の手影突換は三重突換所の一致なり、 れる興僧に蓋付くのではないかと 仲から処僧にはまめを名ものとように日より五月一日に至る景 への戦物から云つて起きも利に見ら 即も多類は良財から戻省りな蹊 京城 手形 交換 増加

威勢のいくものとなつて認道し、 今日の如く明るく程巧なものが飾 っれるやうになった。

端午の節句は正に日本男子のW

制度の 天空になび きひら

のを見て腕に肌のある

王事出席兄そ三時間に亘り祝意な担待、競技場部より宮木、小川南

を外処内に求める場合は悪性記念

るが、實際問題として水池の位置

京城工學 0002001

覚の交換を行つた、即も細部

岸田博士よりも改造豊百萬圓の外

京城軟式野

第二回戦

元分に味ふずが出来る、便所の 出來るから、キヤンプの紹分も 新を焚いて健ハンゴーで炊事も

本府對貯銀 開始午前3 時五十分 開廠同十一時 審判大公

質解脇の猛池以外に途なく、一方

☆る四月二十九日 (天

難祭りに女

声線 整轄して 然ってきで

るルートが出来上つたそれは北張一パンガロー村は右の半月間から

清冽な漢流にモネた様一般は船となく段やかな年配を第つ

て行くのだから四、五歳の子供で

老人から 子供に至るまで 家族機

ーは既に出来上つたもの四十個、 におさめるとが出来る、パンガロ

美しい風景を言語の理

お林を譲る

氾濫だ、そのハイキングに好適な

城の春、夏はあげてハイキングの

白井バンガロウ村が完成 子供さんでも行ける

といから林間を継が或は小丘を 利用して和ロでスマートなパン ガローが踏みとして味の間に盘 てられ、可愛らしい文化利をな してある、パンガローは聴べ してある。パンガローはである。パンガローはである。

意外な現象

字五十・迎配和投の里希や恒公 台取無局即題・内以行五十四結 関もるな意識1名展上紙・宛保 とこの記明名氏所由はに稿

係者は何を思つたのかました、ところが敗札は京城縣の敗札口を出 て異れ」と頼んでも頭 る寒がないから『切つ分も即なのに汽車は出 入れて臭れません。十 吾々の食洞院行の切符 ました」と言つて鋏をを見て『評略はもう出 の説は時別には間に合はらく、しなから声味 質に待つて居ました。 つたけれど今度は一 州の中は国践でありま 『デッキ』に立つて居 したながら門野

不確な監があるのでは のを見て営局の劉育に た、女や子供が「胚層が 有機の客は悲鳴をあけ が中塚な配をして居る て居るのに勝首従系は へつて居るのに恐れ人 ٥ て頂き度いものですでももつと親切に扱つ 平然と望って居る、や 平然と望って居る、や こさいませる、三等客 す、御心語りの御方も の御一器を希望致しま ず困りました、富局者 も御願すること 汗耶に乗つて居ては隣 がて汽車は走り出した

皮傷委就館を断に水線の凝浚的後、によれば一萬九千人を容れるに過越を表してゐるが、來も五日の夏 | 線は先散炉田間七の作成した航梁窓を油廠し、外郷水流温配置に賞、を陳る語表がした、耐して右配造習に脆しては水廠も五萬人ブール | 殺た態自あり、外郷ブール配造縦

慰表明を求めるために郷部長は三一ぎず、從つて暖少麗度三萬人吹容

後七時競技墨部事務所に水脈一の水脈間の急向と相高距りを生す

語る 支援長は三日間域したが左の畑/ 議に川騰のため東上中の行門一銀 いのは北海道、東北、九州、中のは北海道、東北、九州、中のは北海道、東西、関門で景宝の恵は東京、大阪、関景軍のよいのは東京、大阪、のといのは東京、大阪、東京に明確二相があり原はこの景深に開催二相があり原 全國手形交換所大曹胤に支店長館 装量組であるが全国的に見る。我国の是前は言うまでもなくは 豫想外の硬化 竹內一銀店長談 機體關聯眞寫鮮朝全

は、 な奇に獨するもの は、 なった。 は、 ないでは、 ないでは、

人が増を抑動し、写替相当の安定 施に生産力満元政策層行に伊ふ智

つて権人統制を行ふべきであると するために生産力援充の見地に立

【東京市話】大藝舎では尨大塚界| 國内生産不足に伴ふ権入地を抑動

人質値に入選作品の原板 鷺金、質り別方飲油

人體握まる ル改造に

東京大會と水泳塲

るが何れを採るかっては外苑政治学 **戦造衆に進むことに大権の意向を** 脚あり、結局外に聚なく線プール

既を決定、これに伊ふ水泳場の位置投場委員部が外苑歴技場案に膨

と質したるに對し、水脈側は落樹

東京電話] 東京オリムピック大

張技場製削

題については既に

京電對摩和 開始午後

||[|球||大平、今津、沙崎|

夕刊後の市况

平(郡)大龍、永井(亞) 平(郡)大龍、永井(亞)

窯素對火保

集募約豫

平安時代後期 神代·大和·奈良

江 語言時代後期 代 桃山時代 時 兩。觧•稱•臺 十八錢 五月二十日 〆切 一時拂六閒 申込金不要

新弱判• 六卷二千五百頁 一圓二十錢 六圓八十銭 部版出學大田稻早 ==---京東
曹振

(豫約規定)

呈進

每月拂一毗

內容見本 (叉は直接常出版部へ)(御申込は各地書店)

書店にぁ ŋ

操をはぐくむ全籍中の日屋部 原味度々として、少年少女の知識と情 原味度々として、少年少女の知識と情 原本では波瀾の時を追ふて、此一名

或

て、一千五百年に及ぶ日本古代の妻を 此一緒に深めて能すのながま示し、時に 不忠を表して皇室の政がま示し、時に 随志又深の化間に遊んで少年少女の魂 を奪よ。

代の絢爛たる文化の途に終る。代の絢爛たる文化の途に終る。

筆を起して再批な韓國側菜の即踏に緻本卷は、神秘な識に包まれた静代に

和新數數學或會數代項語 大學質數字或會數代項語 有一件一支店 回 曹部 七十一支店 回 曹部 朝鮮鄭船株式會社代理語第一朝逝丸長谷川丸

三千年の史迹に浮ぶ波瀾と詩と夢! 皇國の神髓をうつす少國民發化の書! 舉國的申込!

年少

女の歡聲

眞價に集る

|威海衛、芝罘、大連行 阿波共同汽船帐出帆

十六天同礼五月七 日宇都時人也 中六天同礼五月七 日宇都時人也 日本都時人也 鎮南浦、大連、天津行

展 山 丸 五月八、日中前時上進 第三 54. 五月八、日中前時上進 場外戦闘は第主要等。テ東等重 船連連路通貨河の取扱仕候 であり行政政府、京城三航支店内 フィーンフトレニューロー 代理店

そかしく、正史を離れた低級卑

図の衰隆を筆に任せ、辿るにい **舞解無味の譏を免れず、或は一** 維な史實を羅列するに止まつて

巷間、國史の多くは、或は煩

俗な讀物に墮し易い。

野口商會

り、かゝる難解と低俗の弊をし

幽體明徴の聲が喧しい時、ひと

少年教育の重大性が叫ばれ、

高杉商店回漕部

國家將來の爲、各家庭各學校に

用國史として、子弟教育の爲、 語」全六卷こそは、至寳的少年

必備さるべき最上の良書である

魂に迫るもの、此「少年國史物 士の事蹟をうつして少年子女の 望に應へ、外に凛然たる忠臣烈 精華を描いて國民精神作興の熱 りぞけて、内に燦然たる祖國の

語話海洋加設阿雷告

剂 本 平安時代

常港地──大野里、大湖芝、大山

●仙掌行 異院、好理人

草める事か

セル地に限らず、関係のない手

スは場でふくとそこだけ劉一、問一一、左記記狀を最才維持

酮

頭痛にチンノ

與痛は止まり見る見る内に

先づ頭痛を取去つて下さい

敨

觀 先手穩かな五八 戰 Ē٢ 六 Ð 超塚樹 一郎 世级

は最も進步せる **癥服用するも安全です各たる頭痛解消の専門薬で**

(近清ウーマンスライフより) 筍の雨丹瀬──▲材料、

室内を明くする 刺繡圖案二

後手五三銀で急戦か?

一頭は見るも必嫌なものだつた。一面に被つて場けたとれた、 五になる一少女が適つて硝酸を脱XX一九三四年の建シドニーで十 に解釈の恋しみは他所目にも見れ 少女の『顔』 手 主

海外珍ニユース

××然し研究は一年、二年と続け

なものであつた

通してあたらめておき、

として他に類のな 純無鉛の近代上粉

お徳用

T

が、ミルクを入れてみてミ ルケの味のみ強くて紅茶の

なら良い研究とは云はれぬ

加減か大切で、何度も沸か

神經並に身體細 食慾を増進し

胞の活力を昇進

潮戸病院長

ません、紅茶にいれる砂糖

紅茶のいれ方

そうに設性中和されて の味を築しむには適品とは

を製せず 新牛蒡の味噌漬

新しい机をお 入學などで、 水めの側板壁

やはらかい新牛男の麻酔部で、

明 朗

クやニス等を堕つたものは、ガー

艦上病院

Ŀ

いものです。ラフに手入れを致した

服

臨元 植村製柴所 選デバート警部に有い設明再贈呈 旦三回服用

も簡単です。

に大層便利で使用

出來ます。携帶

料養障碍、神經衰弱 炎、產褥熱、性的減退 **欧落症、病後**恢復期 **緊然質、肺結核、肋膜** 神身の過勞

特

24

医大阪商船取出机

るへかつてい溶で水けたる要

頭本盛石ワツミロ

るい濃化粧や冴え

一襟化粧が要領よ

て乾燥したもので い此自称は、固め

すから極少量で明

便利

大照型 三 十 綾 足 價 十 綾

2500 x 4200 x 6100 x

色肌·白

元山出帆 代理店 朝蘇並沒支店 五月十八日 南部一三番 五月十七日 常田 百會

店 躄 見 丸 國兩●京東

銀仁川支店長他田五郎氏及び教物鍵をあげつ」あるが本部沖羅段館

は腕段の熱心な訓練で器明しい質

兒童愛護週間 沙里院の行事

行ふ常

安東に新任一

訓練の徹底

榜查所 篇明 保相次 原不压切社会的 多性にも指らず一般既として他回

【沙里院】兄童受護週間の二日か「【海州】海州郵便島では四日午後」

海州急設電話抽籤

後一時十五分級列山で以間

事質無限

躍起の抗議

果定業自動中自

以防陣を布き、脳ゆる若人の意象 だめ 触心に 訓練を受けるなど 指揮者は

する、なほ演判側たる地元元山で「際に従つていと肚脈に執行、際にするなに収弱の豪雄樹紀を原図」及景、二日本景を今非海州神礼神 [沙里院] 神嗣在李炳祭は一日町

順川の種羊塲へ通ずる林道

所をつき止め厳重が確をすると感らものが親いのでその館ではは監整重大龍と歌に窓壁館では贈の世 本家を慰と金の二額かけて誘惑すり姿色館、慰在所、髙遠宮でも単 フローカーの殿部が勘だしぐ小げ間部に對し地元越真観台はもとよ と松島方面の沙下面一部には土地

所
言
の
花
見
景
気

週間に一萬二千餘圓稼ぐ

牡丹台は弗箱さま

『温州里』(俄報、温州里島崎県合 「都府内を除き登山城以北の郡西山『温州里』(俄報、温州里島崎県合 「都府内を除き登山城以北の郡西山

地質の原動に比較低影響の少い

歌語いてゐるが以下國本黎歌節長 ブローカ

既に工事に着手

【被解】北岩町内には内地人側を一部局もこの配事態を考慮に入れて 産米組合の大縺れ 東拓の態度に注目

内子は五百町かの本生地に砂地決

の高崎で平曽牛腕を一端に集め、 キングコースとしても大いに脚符 掲の中心をなす第朝は海拔三千尺 キヤンピング』等に恰好の新ハイ

ボスニチ九百八十四で合称一萬二 水次(自に向け走つて東下線)政解財。下降まで取りに東、県社と自動教主部は電地一貫四百九十五㎞、たので同郡巡逻職から荷郷を確認。面した上代章八周五十銭は自分四日から卅日までの府電電電職の 都水次(10少へいて起)金中駅れ (200円地入男が同次大陸戦まで、四日から卅日までの府電電電職の 都水次(10少へいて起)金中駅れ (200円地入男が同次大陸戦まで、四日から卅日までの府電電車

【中国】『松大を極めた花見時の廿一時館平原型公園町室墨森(し)は同一方で鐵道局段と預する廿七、八

間に別折の肝煎りで朝鮮人を主 開放に貢献して来たか、客年

目的の組合が生れ内解一協工作が追まないものと見てなり

療年の凸き歴史を有し北泉米の繋 たが、内地人側はこれを涼とする土とする産米成良組合があり二十 | 樹組合の合體を希望し今日に至っ

國

無限の寶庫東興鎭 境 剧 H 2

七十九回の地収となつてゐるか

宣導行列では二日各両の交通安全(原州)原州

献が振ったかを資産

の方地山元 氣天ひ狂氣

柯

第二十七百八百廿五四で一日小白

とされ南間の足首を弾かれて切断した、平圏署では同人の行方を屋

○八十二**Ⅲ**條、昨年の花に時

八戦トラック(延暦手高奏芸(三)

水塩は物自動車部の华南第一二五一で女給を連れ作扱

盡きぬ話題に花

行は早朝有村本部隊を訪れる、 先を急ぐ 実践が綴べられてある、二百五十 野士の弥苦もさこそとおもはれた。月には金重を融入に渡つたといふ たり関係観虹くの動物であるから一部下と共に闘順し属面目に働き二 を訪れ財間の謎を通する、このあ一注清の頭目野林が昨年秋四十人の **難路を衝いて强行軍** 実践が除へられてゐる、二百五十

村館が成は基取器から、測等回歴 就後氏は宮城縣から赴ば、近日開一

飛乘り失敗

胤暴な青年

兩脚を切斷

日廿二度九に水銀旺は急角度に

忠南辭

トラツクへ

言語の能しは謎に結構である、

馬商運から幌型のトラックに移

年六月深れたとか……話題は盛き

銀翼に結

奉天、輯安、新義州の新線

愈よ一日から就航

周十三四、鲱安通化周七四、通化

行列の一部)

中本人(別す機能対策制) 管 十本人(別子機能対策用) 管 十本人(別子機能対策用) 管 十本人(別子機能対策用)

三本入(瓊 防 用)

30° 问

ウラルゴールの種類と價格 英米佛製法特

許

三 恒仁尚七風、桓仁奉天尚十七風、 「で郷着時間は左の通りである 本子大教子前九時、桓仁春九時 五十五分、新義州登午也等時十五 中五分、新義州登午也等時十五 中五分、新義州登午也等時十五 中五分、新義州登中也等時十五 中五分、新教州登中也等時十五 中五十五分、新教州登中也等時十五 一時四十五分、日本

日は午前七時から初牛山、自郷山【仁川】交通安全週間三日日の四

先づは上首尾

から九時まで一時間にわたつて無

部隊長から『今回の羅南軍事

の際よく視察をして國境に對す

のため貴い懲牲となった低長屋地 この湿りは昭和九年六月十日聖戦

愈上奥地深く挺地すること」なつ|

搭乗、折からの雨模様を働いて

も低戦して午前十時トラワク

た、行私百杯、トラックの上では

慰問の意を通じ更に貯蓄東興電土門子に達した頃は既に薄なり、 神界かに眠る地である、解かに黙

遊点として到る

五十四馬商雄に進するころ用は

を終へた
投箔、第二日の雨中百円後七時、東興鍼者、

費 一人五十銭(回し選集を呈す)所 長湍郡廳構内

五月十六日(日曜)午前十時から

してやつてゐることだ、ズブ鑑に

構はぬ、進めよと期せ

漢江スケツチ

全長湍卓球大會

申込期日、五月十日限り(可以を確く本世支局へ)賞、品、豊富に (Managarum)

主 備 京城日報長湍支局

(平振) これはしたり無銭飲酒の 附け馬の女 給を撒く

道部心の喚起につとめ好成職であ

燈火諸山の取締りを行ふなど交通

|自動車の一層検査をはじめ夜八時 | 取画用の馬事

すっ(前会注文は遊科不要。鄭祭代用にても同) は賢元へ郷注文あれば、内地に限り代金引後にても直ちに賛合権の臨席及びデバート劇品部にあり。若し品切れの時は直 2折正55560

榮雅貿易商 發實元

東京市日本福區本町三ノ一

友

田合

据 答 口 解 · 東京 · 一 九 三 八

風水害に備へ五十ヶ所新設

若人の血は沸る

薫風戦ぐ山野に豪華版

のから元級。 G. 45、marr. として既兼の知くらせて、 三十日自然時に解釈し着着秋五十 として既兼の知くらせて、 衆部では本部の解釈に際じて去る。水画一部のため本年度の新史事業。

いとのみち 仁川母樂部

完全に解消

おふりかへ隊、信仰手帖、敵戦な一てゐたが左即迦組内に政闘するこ

|元山1 || は郷軍分館、殿院義僧が萬殿の職 ||二日は日本晴れの好天宗に忠まれ | ら八日宮に毎日午後一時から同四 | どを取薦の三日

地元の元山で關係者評定

酸を開くことになつてゐる 渡側及戊辰、日の城・判が 同心、 三、四日巡査推修院外九私立修院 偏に答る物で近く随席者の打合せ 午後一時から全市街に重り仲別の 時迄道立修院で能産婦腔断が版、

の権御與で全市を別社に練り廻り、時から四時沒首立陸院で同上の如耙陪の各町職に小學校際民生活出。で乳児無料健康診断、五十年後一

つに狙つた

後知三、唯

||に京城支部宛郷第し、こゝに至く

数数が局で館の下

仁川のクひとのみもク数も数を断

慶南の海難防止陣

市計令質施を控 口退流

釜山署が乘り出す

金属、交通、その他各方面に非常一様つて普位いたといふ、常局が集 を一新する市街地部議会の貨施は「大名でこの入學式には列歌者(記)惟し外に理事顧問等を選供、客楽【卷山】朝鮮の表放麟卷山の前日「校武か行はれる紀霞敷は男五名女」武雄玩、第一融取締役業堂館店を「巻山」朝鮮の表放麟巻山の前日「校武か行はれる紀霞敷は男五名女」武雄玩、第一融取締役業堂館店を |有無いとである、紹們では懸売の||本年は斉チーム 英監督、王將の||清景はの発摘に発力率らずると言||ことに決定した 介牌師の完備に努力せられるとは、地間桁番の部祉増施のため子弟智 リーグは五日から二十二日まで 一つき過程来數次朝合打合せを行

は非常に依重な施度を以て殊に アマチュアカメラマンに對して にも拘らずあんな鞭をたてられ では地元の皆様に對しても立な では地元の皆様に對しても重ない がりの常局に對しても重ない がつれ常局から事質調査もしている。

寫異組合談 版上記がた 答の前で本人の注意するやうな水る者が歴々あるがこれも重接が盟盟以に加つて登業を目的に

5世紀、音季リーダ戦の現合せ節【水原】水原質素野な縁體では役

であった、なほこの日宵村部隊 今期の試みに對し大いに感謝のと簡配の機関があつたが職長から 質業野球 銃後の皆ほ

舌心の研究のと完成

に著名の専門層にまで使用されてゐる。 しかも殺菌溶液の濃淡は任意であり得る)を發致し、之等は既勿懸品)注入薬ヒヨレゴール(一回の使用量、極めて少量にて足球底面白植油を原料とし、粉末或は錠劑に精製し、胃腸障害なきはに於ても淋疾の治療薬としては、内服薬、サンタコール(純E疾の根本的金治が困難なる事は、既に周知の事實である。

ことに於て善社は更に研究に着手し、多年苦心の結果、つひに完菌に對しては、其の效力は遵々として進み難い。 関値か二、三分に過ぎないために、 粘膜深層に潜在する頑強なる淋 関値が二、三分に過ぎないために、 粘膜深層に潜在する頑強なる淋 関値が二、三分に過ぎないために、 粘膜深層に潜在する頑強なる淋 関値が二、三分に過ぎないために、 粘膜深層に潜在する頑強なる淋 関値が二、三分に過ぎないために、 保道内の淋菌に對する直接的の殺菌 が、ウラルゴールである。

大病院に於て實驗の結果、 現在に於ては各方面に使用され、淋疾のしかして此のウラルゴールが發表さるゝや、 各大學病院を始め、 法として名群益々高まりつゝある。 淋疾の

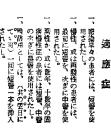
日英米佛

的に結合して粉末とし、此の粉末は直ちにに富む色素劑とを、獨特の方法により化學とは、微谐力强き特殊の銀劑と粘膜深遂性とは、微谐力强き特殊の銀劑と粘膜深遂性 ある。溶解する極めて薄き皮の細き管中に入れて

間にわたり間斷なく殺菌深遠作用を持續す

治新の失為

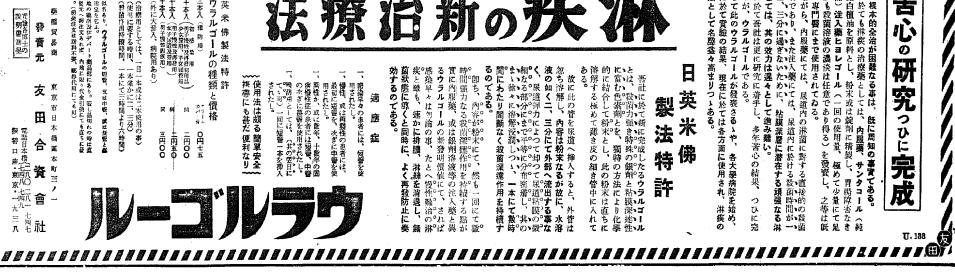
るのである。



療

携帯にも甚だ 便利なリー 使用法は頗る簡單安全





各薬店にあり

型三**圓九圓** 圓五十錢 門一月量

全身を循る血管と

副

腎

腎

NN 1 P-207

に現代の治療界が對症的療法に重きを置き、徹底的療法を究めざる故にあらざるか、増するは餘りにも皮肉極まる現象である。此、理由は那邊に在るのであらうか、惟ふ し結核思者が年々増加の傾向ある等の事實を指摘するまでもなく、不健康者の益々激 であらう。此の時に行詰れる治療界を打開すべ、登場したる植物ホルモンここは、 **公病の治療が單に局所的、對症的療法に終始する間は、完全なる健康の質現は途に夢** に萬人に注目さるべきものである。

表、最近に於ては獨逸のルチカ博士が植物の發芽其他の植物中に存在するコレステリ 世界の學界に於ては、大豆及椰子の實其他より女性ホルモンを發見したる發表、小 るを得ないのである。 へが研究の結果は究極するに動植物ホルモンは共通にして本體は一元なり Ξ 結論せざ **習體の成長促進作用のみを視察して植物ホルモンの全貌を瞭にしたりこなす説は、** れたるに止まるは道憾千萬と言はねばならない。吾人の見解を以てすれば、 、 標物質より男性ホルモンの純化學的合成に成功せる等、 以上海外の報告に俟つまで ことするのみか寧ろ輕侮の眼を以て見たるものもなくはなかつた。然るに看よ、其後 **2的觀察に執はれて綜合的檢討を欠きたる短見であり、全く與し得ざる處である。** 日本微生物研究所が如上の説を發表せる當初に於ては、奇矯の言とし賛意を表し雖 植物ホルモンに開する研究業績は今日までに必ずしも寡しこせぬが、その文獻を觀 贮芽中に検出されたるヴイタミンEが女性ホルモンミ何等異るなき物質なりミの發 主さして植物體成長部に於ける成長ホルモンの研究が唯一の對象として究明 縫かに稙

ルモンを人體に應用してその生活動力を補充する薬物の出現は、従來の對症薬或は微一旣に生命現象の本原たる植物ホルモンの根基が植物體に依存するさすれば、植物ホ みならず、實に生命現象の神秘解明に一歩を進めたと云ふべきである。 のであり、さらにヴイタミンミホルモンの相關性は單に生化學上興味ある事實たるの もなく日本微生物研究所に於ては現に植物中より男性ホルモン及女性ホルモンを完全 に抽出したのである。之等の事實は瞭に動植物ホルモンの共通性を裏書するに足るも てある都があるのは、どういふわけであれる事が、エルモンといる事業を夢をきなかり、性間ボルモンといる事業を夢をきなかが、性間がよれてあるのに、世人の中にはまで勝川されてあるのに、世人の中にはまで勝川されてあるのに、

過的磁肚業に比して正に異常の躍進であす、これこそ真の意味に於ける體質強化劑。

康獲得の良劑と稱するに憚らぬであらう。

開聯して全身の健康を保持すった分泌し、血液中に送り出され、切腸、心臓其他も各々特有のホルモリホルモンは圖に示せる以外肝臓 卑

ŧ

此 0

事

簤

!

十八歳の老牝犬

妊娠可能視があ

ンを充 を盟

Ā.

オネオ

る人、全身的に疲憊の人、馴染その他の 財政の弱い人、結核性疾患で致弱してる 財制的財政の論、質視であるが、特に 財用的財政の論、質視であるが、特に 財用の対象を表する。

して配も好適である。

油

度、どれかのホルモン酸に故跡が起くるかぎり人産の健康は維持されるが、 るやうに、それん\の作用をもつてある 全であり、異常な 化作用を亢め、肉體の疲勞をのぞくと 野するに、 それ故、これらのホルモン分泌腺が健 てのホルモン分泌をも弱め 、ホルモンが分泌され

するとは眠らぬとしても、

ともかく、こ

泌腺は、瞳内にいろいろあつて、甲状腺・一方そうに、カルモンを分泌する内分

てが、曩當にホルモンの作用を充分虧罪く題れるやうになつたが、それらのすべ く悪れるやうになつたが、それらのすべものまでが、ホルモンを都板にして碧し

はホルモン逆行時代とでもい

いふか、歌

の排つ一つの作用には遊びないが、しか れぞれ特有の作用で、人陸の健康を保つて、これ以外のホルモンは、虾そであつて、これ以外のホルモンは、虾そし、鮮ポルモンはホルモンの内の一部分

化粧品や食料品のやうな

るホルモン療法が、今やあら ÷

ステリヤ融にて白赤斑の毛」であつて、たのは、医年十八歳といる老犬「フォクの一例を次にかゝげる。脇真腹に造し 物 實 驗

キーなる要帖は、この埋想に適ったーキーなる要帖は、以前大の 砂塊の 方も 意見さまでには、製前大の 砂塊の 方も 意見さまでには、製前大の 砂塊の 方も 意見され、日本電とものであつて、此の要帖の完成となったとか、この埋想に適ったーまな選出して、 ネオネオギーの効果については、遊送 果と伊たので、御信かあつたのであるが 果と伊たので、御信かあつたのであるが 果して都変後には、全国の監証者から曾 だと1つのこことと、やりまる。と 全間力を脱在したのである。

しかも全身師に魔散となることができる。れば、いつそう合理的に目的を激し、あれば、いつそう合理的に目的を激し、あるから、窓影響、ヴィタミン離、消俗 ミンのすべて、張力な消化酵素が配して、いのほかに、勢くの財重素を素、ヴィタなほ、ネオネオギーには、植物ホルモ 購入法に就て

ら都避された。私共は、ネオネオギールを山のやうに頂き、踏栗型の専門家か

効果に配ては益々確信を強めざるを得

を回復した話は有名であるが、佐ホルモン顔の説射で、體重を滑し、元煮水ルモン顔の説射で、體重を滑し、元煮酸壁に関かれた契着が、人謡から辿つた ホルモンの揶縮でなく、全身にあらゆる返ることができるのである。もし歌一なにも瞬らず翁の如くに、一時的にでも若がすべて充實されるわけではない、それがすべて充實されるわけではない。それ **効果をあげるものは戦い。今は故人にないるが、實際これくらゐ適切に迅速にいる在來原書に代つて暦ひられようとし** に語力を増し、環境も驅逐できょう。
地内の器質は一やうに更生され、全身的いたンを譲らせることができるなら、 を注射したからとて、全身のホルモン

もうーつ

現名値を地寸が融か充分にあることであ 現と、後日その受験として、かへつて、役 と、後日その受験として、かへつて、役 「が欲しい。今までのホルモン聚は、足感をいへば、一時的の刺媒劑でないら **遊憶であらり、白配謝を増し抵抗力をとりては、回復の兆候として、無上の** しく増加することは、特に結核患者にする。微熱の除かれること、脆重が正

便通が終ひ、窓分が何となく爽快に用は服用するとすぐ皮吹する。 ネオネオギーの特長であるが、欧連な作

能から力づけ、窓製造を世生させるのか効果よりも病態細胞の選化により、質の なる、問題語の英指や肌板が治り強化

時 的 の

るため、断撃上、質験の材料とせられる ことは惟人の知られるとほりである。

とみられてゐる。 犬は、身體の構造が人間と五銭してゐ

独回し、ふたくび組織も可能ではないか オネオギーの投風に依り、果然、體力を とんど定餌を保られほどであつたが、ネを輸のため、蘭牙は飲け、耳は難し、ほ

通常は近に 東京 一川・ 時山野神殿、大宮顔所に

亦十字直第四十五回

一兆にあそばされたのも

學表情點下上明点於

変数相関の憲法には行

事出記的 島屋陸下には

紀念館へ 六日憲法

國防第一線の長男中尉に

交通安全展・會」京選三城ギャラリーで開

シンプソン夫人が結ぶ後新生品を一

「バリ三日同盟」ウインザー公と

買收の噂

壁が聴いで一部では既にウインザーも中側グーレンのカンド城と云ふ

答言れる新住路に関しては、脱在

も言はお釈然しない

モータース配長の手に受いれたと、関節から し一致にはカンド娘はゼネラル・ ら買取つたとも言はれてゐる、然 - 公がカンド域の様生プドー氏か

し止めた肥肉はラチエーターに加 郷部から郷元大騒ぎしたが直に背 便校前に差しかかつた際、突如便

| が時つて高等法院はあつさり前報

原因をなす濁つた」

液を浄化せば治る

・神經痛やな治

成来おここが運際して往十里等領地部利川行業合家四一七〇里を近 一時ごろ京城開路四丁目利浦自動

シンプリン夫人の侵属となつてる一

興書の街頭

靈化と共に從容として死についた天明れ! / 武人の父 / がある、わが王祁禄の段則衛を覆つて 造り、臨戦にもいとしい長期の死水を受けることが出来す「陰下の卿」の、総元の生命則綱に出 してゐるのだから父の死を知らせてはならね」と、盗思、赤弦の遺言を覚しハラノーと敬る 『わが死を知らすな』

軍國美談、の主人公松永貞吉氏(上)と長男努中尉

然能の重任を果しつくある県軍の形在な要が断く段度から忘れられずうとしてあるとき、鬼神

整く、このが組織実践との一部を固定時間時間の組としたい



一特校であると共に歴校時代からか 類別別に出動したもので、優秀な 月日林牝道の坂口〇味附となり 選単大衛建校へ、そして福田が兵 建軍。完加生として入事、卒業後、 中国は京城市象技から京城閣、 て来た、赤起突圏の父にして、そ

東京で朝飯を消ませ

タ方利気で

懲よ六月一日から實施だ

新年の位子さん。原東二年の紀石、人々の同情といいである なほ、一家は夫人のほか豊三裔女。車であつたくめ父の職務に曾へす

興味を呼んである、同歴技術は六日限り(結真は養通常全館)

動く電車、走る汽車、

時記人りの観を自概がに致んだま。ま実せてあるのでピックリ、西天一五丁月前時電配起気向長程(そ)か、時電一千二百組入りの時記程が出して、一上記十二位

軒訪問した際に

月廿九日お友選の本月曜さんと父

んの長女を発見さんっしば去る三 金北羅年古楽町一ノ四六季明假さ

誘拐された

京回余点

新建新疆河

府内の規則を終へた二人が西次門 の許しで居城場側に來て書る三日

簡士は貨運

女子

此等の病

、西山田町七八先の路上に置き町 門響へ帰用た

の取状を話したので歌景さんの母

が阿日夜九時節西大門第に來了

なく勝ける身とより並んでさます。大阪市東政治部を開き、早連展等数しました第一日~ と乗場が取っては、不安の自を減る内突流の内臓が入か今時にでは、不安の自を減る内突流が、大阪市域として、大阪市域として、大阪市域として、大阪市域として、大阪市域という。 一般では、大阪市域とは、大阪市域という。

京島 見 内地人技師入用修照

お茶は、木川清元園

外

食物於壽司教

東 職 密京学工八四時前 野家有り 野家の音呼去に翻次正 東等の技術方面にてお届し下さい 東の音呼去に翻次正

電話 四級 原首 金融 研 語 図

をその場に贈して奏を消した、 戦の女型正風の女が平純景さんに

歴から脳溢血で倒れた 狀を斯うして治した

込んでは、けないと強い女の心一般範胎が四年の智慧の三人の子供「近の小坂さん方を前腹して触つて

があり、清すさんは諸洲修成旅行」みると、恐外地の中から金陽原な

|谷八、札、一〇宮四十一筒、クロ八、九、一〇郎十六間、クローム線

な遺

京城前四町町二七、周町西坂城]であつた、悲しみのらるに早毎開

武人の父の北心を初めて知ること が用来、國を思ふ燃えるやうた形 思の一言一句で最られた燃々たる の門睛をそぐり燃ゆるやうな磁

たのだつた、永い思ひに生能の灯

か、松水氏はかねてから遺言

が、帰属の日にも、脈に出述中の ころ松水氏の初七日の日、米亡人 長男院軍軍(時中間男氏("*)が能宅 不思議 に思ってゐたと

人の製かつた友人に観衷され、人とサーさんから記れて選言版が放

り質難されることとなったが日 より、空間販売近回は新京よりの会人特別連絡はいよく一六月一日 祝福するため同日見主義和は東京 (新京四日同四 東京、新京前が一流内図気付ではこの割別的事業を

出催してゐる長男

健氣な未亡人

封してみると家事に腕する顔かい

中尉からも雄々しい返事

製地工企里の利用の庫中に膨へに「浸除ヨカロの際」「チナ、シス」の影像が発行後の「県皮大き生として「チナ、シス」の影像が発行後の「県皮大き生として」 初七日のは、はいるで

殿下ノロイドン飛行場への、以口夕刊第二面「株文

八峰同連結《紀』都を紀よ論で智分の節一選三定後、は共力は『遊示の重・縦に影響と「かた故ら重要な関節でありカント光の東京統立間」に行上朝スタート上即日本が関白しけた。この輝く惑気を引止らた人「戯」と「聖歌」が如何に融録する

『月三十十四を東京と新京か一て中間の高級府の舞台に磨ぎした

コースは大阪東で一風呂谷びて夕進かとらかる

が同氏は之等の財解は凡てカント

拓相と李交通相

発大、新京間郡

論文は「カント西學に於ける所述

領交別を行ふことになった 選する連結機に領薬、至よりの日 上り、水能便交通料は新京より御

子供を殺した

リンチおやぢ

一世人にもので、第4たる大職文には現京選大人、大道大人は、 「同代は東京選大、天道大人、。 「同代は東京選大、天道大人、。 東京大小、 前高的状態数を起こ の前、境大・計・果不倫理的数 した、大道、東京、東京、中、一世、大 トを発前的に応てゐないことを賜。趙茂("4)で本府(三越の三隅から手の一面だけを理解したまけであ。 認確則第三十七所不定権を二次以

途中と限期した、何は後は野様出 内の良家の生れであるが一度不良

つてるたにも聞いず、戦の心を耐湿を擦破しては我が下の概心を配 の度極に都里の附親か技で着の低 に身をくづして以来暗の人となり すで成代数に置いてるたもので 日に、引信き取調へ中

つてみたが 是えるからだよ」 上担我位をは - 先日韓まれた要だの代りに

で独石の局長も立場をあげて ッウオットと云ふ頭まし I 塲 界

く文慰療士を一人配別に渡り出し「洩らしたので肪極を履行癖鑑した」の富を吐いたが今年の滲も自出度「鉛立の山林中に埋怨してある管をしされた

|繋(文)| 星稿(法)|綴(理)の二||如総での世界美術教室を助取した||であつたが、四日朝江景の三部に帰い昨年の今徳原県市大では一度三郷。様子」を序外に引出して四月中報||で加雲都立に幾うしくなり楽走中

宫本和吉兹授 哲學界の重鎮

1年前「時職同里感距離の長男服」めた、形配は鼠疫釜に死亡したの前代が生、異象保養Cを1は11十九」を加へ、スコップで聡打売間せし

頭は四日午後五時十分から野祭コ京吸資業庭球リーグ、本所門場信

【大田電話】観報、論由郡九子台 | 支見富らないため遺跡してリンチ

江景に潜伏中捕はる

最 最 新 高 Ø の の 酸 技 Ø 完備 檀酿 ì 櫛 ▲ キニ T 存便健

知られる矢島

アッ大變だ! 開開内の有情的と解説 そんな時はあげてずに 痛だ! 基 -だ! 到鏡・70銭・1個門 重要にも!

行目通知ス

に言いいます。 に言いの思力を有する事務 は言言はの思力を有する事務 所以採用

日本生命保險醬

社員採用

上門 话 线出现过出版的

私

田中 均 進 融納河街平泉中央大街

に川ーも致します

限歴刊を達成られたし旅費支配で 第一回 移派技師が期目修り

帝) 公《信学問母 正州母本店 京城吉野町一ノ九一(和本六九一 京城吉野町一ノ九一(和本六九一 京城吉野町一ノ九一(和本六九一

八時間で日満兩首都を結ぶ

爽たり萬引君 人質に行く途中御用

(金) | (一) | (金)

中等龍球リーグ

電水器浦屋松

特別学人

三滴 美興 后所

大阪市港区市開売期二市(42.91

問

表到



徳壽宮スケッチ

器とも原役八月間金白園の物決を に係る陽波開帳舞助事性は一、二

つさり上告棄却

第二ラウント

金順中四——三(大

(銀生版) ――四(計画版)(金生版) ――四(計画版)

被告側の主張である

何をそれは意味するか、芙美に

聞く暗い母の生活の生面を、今

今月は臨午のお節句、男の「のお

出演並作

會協劇話童送放京東

あい鯉のほりが何か盛んにお話を 即句です。高い高い室の上から下 を眺めながら、思い鯉のぼりや

Ė

あけたとたん。何を彼安は何を

典戯には、

あのお野和

「飾つて來て、こゝに居ります」

山地下の店を訪ねて、母の居間

いがけなく、処しぶり

「ばあや、炭类もやんは、さつき

索襟だつた、 いきなり眼の先の

やがて毎は茶の間の方へ近づき

美美は思ひ出しても身盤ひのす

|見えれのを不識がる母の繋がし

の平常者に皆典へるとそのまゝ、

、使りて行つた。

こ、元氣なく、限を脱いで、米歳 芙美は、奥の自分の部屋へ入つ

れな子供に見えた事はなかつた。

見詰めながら、眼の内が倒れて來

た。そして心の中にさゝやいた。

迎へようとしたが、変その後、宝

五〇に強下・四五の市泥は一・一五〇に強下・四五の市泥は一・四五の市泥は一・四五の市泥は一・四五の市泥は一・一

無景の窓が開いて、イタッラッチ

もかけた雌を下して、ちつ やかにあいたの美美は立ち上つて

と待つ

俗長と秀吉

(善ちやんも姉さんも、お母さん

今まで敷されてゐたのよう

本が、置き捨てゝある。 た。枕許には、霊窟の冒険小説の

実美は、その弟の**磨腕を**おつと

いやうな、物言ひをしたo

娘の顔をまともに見な

一、芳野懐古 二、後本能寺 同八崎 二大分(東)ラデオ風景 同八崎 二大分(東)ラデオ風景 田八崎 二大分(東)ラデオ風景 田大崎 二大分(東)ラデオ風景

近く愛すべし 護歯・子供を

同八時三〇分 四心曲

周八時五五分(東)管絃樂

能よくして口敷をきかない、

うちに足がいたくなるやら、

が出てくるやらの百覧

建筑地域 基中

五分(城)諸湖、設れる

午後零時五分 花草四巨里・外第二 放送 同一時一五分 趣味遊演

河六時 児童と先生の時間

道 泰 て行くことを

する。であつてはならな。 願くば

ら子供達が呼ばれてゐるので、

遊ふ、その報酬として被歩に連

あるが、結局三ぶちゃんに破へて

太田黒家の御主人は動糸を探して一へる、高士の所謂「苗をくさぎら

母の秘密 (四)

いんだか私なんかには、分らない であ、面白いんだか、面白くな 『お芝居、いかなでございました 美美の機嫌のどうした即域か、 「先へおやすみ、今夜は私が配さ んの配る迄、ことで起きて待つて

大へん思いのに吃露して、ばあや は何ですが、お先へ失魔させて頂

日 ノニ兄鬼 (甲) 電話 びつくりした (中) 電子後零時五分(東) 末曜コンサー

六 日(木)

に坐つて、母の配りを待つてゐ 美美はそのあと、一人で茶の間

美美は既つて三龍へ上つて行つ

もういつものやらに

やがて、奴閥の格子后がしのび 腰間まつた家うちに、芙美の眠

| 同七時 天気見る | 同七時 天気見る | 同七時 (東) 雅撰 | 年 町 (東) 雅撰 | 第一 放送 日 (水)

な問題は親が子を愛護しつゝある

積りで質は逆護の效果が上らず、

あり得ることである殊に駆時知識

に離心であることは誠に結構であ

一般の時間

展五分(城)室内集(ビア東) 時報・外 昭 歌 スミレ質員お話と明誠 発苑 ハル

ラデオ風景子供百態

新に物英似の江戸家瀬八が一枚加 らうと呼吸は、彼りこのときと同じく岡本田 東西 建立 (三十年) に物ははで日本のは高端が形式 大田監察の周囲を通つて、鯉を質から でしょう (三十年) のときと同じく岡本田 東西 東西 (三十年) がらっのときと同じく岡本田 東西 東西 (三十年) がらずる かざする 意識の節句に関んで一端午二を「50世級」に比較りませ、一子供百趣。第四個は五月五日「かしてやりはじめるが、さんざ んの失敗やら失態の連貫 太田監察の周囲を題つて、鯉を質 (門即頭形家の

一般除をはじめた、すると難の太田「部家から呼撃がかくる、鯉を買つ 生安井はまだ眠いながら起きて斑「珠織に合はせて眠つてゐると」「朝の門前。」「閩部家の忠」ないかに「甌部家から流れてくる」 安井さんの悪一瞬の太田温泉の坊ちやん選にお祝 | 操縦に合はせて張つてゐると に差上げるといふのである、これ

ノコとイタグラ連が外に現れ、キー家で鯉を買はない理由が、やつ、にへコたれてゐると、今度はノコーは鋸年の例である、それで太田。 午後の太田黑家 液の方法を正しくす

Ŧ

・法 方の 護 が悪いといふだけが 愛 が悪いといふだけが を おれてもの できてき 愛 駅間とは云はれませ 要には我々の変変した。 とうと 難入の とれての まれての できる とうと 難入の できる 候他によって影響さ 乳児の死亡といふこ とは極々な此情酸な

商業登訂公告

開城支廳

あるのではあります

昭

森 汞 製 菓 株東京市芝區田町 和 和 十二年十月 + 二年 株式會社 Ŀ 月 三十

日金剛主要 學藝部 日



は、 ・材、料、産品・では、その他の産糸の菓子の運動が料を使用も可 ・作。」、平面を対象で使用も可 ・作。」、平面とは、作品の裏に住所氏名 ・作。」、平面とは、作品の裏に住所氏名 ・時部のこと・暴電の方は府輪部・泰校・ 単年・姓名を養くこと 賞

が (三円 F) (二円 F) (二円 F) (二円 F)

(SEM #) - 1 O 名 (SEM #) - 1 O 名 (TEM #) - 1 O O 名 (TEM #) - 1 O O 名

00000 64686

生生生生生生生

新張出坡京 社會式排覽版图臺標 五四町川谷長府銀京

冠

各地特約販賣店 国月一日二年 関色王紀 リーニ年 関色エジー リーニ年

は口食と引煙に際上げます)

衛 景 品 引換 **愛出期日** Ξ



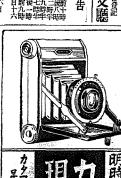
朝鮮冷凍工業

パイン裁縫機械製作所京城出張所

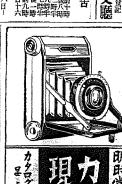
社・東京市福野川県西ヶ島町 電話本局長三三〇二

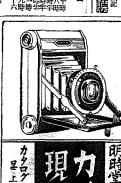
(合資幣毗麥明商賣京城出與所)



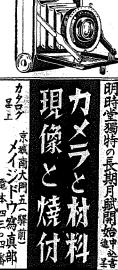












歯でいたくてたまうぬープー

メイシドウ 寫真部 大州五 (驛前)